

令和5年9月1日

恵庭市議会議長 長谷 文子 様

会 派 名 自由民主党議員団 翡翠会

代表者氏名 市 川 慎 二



### 政務活動費結果報告書

恵庭市議会政務活動費の交付に関する条例第7条第1項に基づき、当派の令和5年度研究研修結果報告書について、次のとおり報告します。

#### 記

1 研究研修期間 令和5年8月2日から 令和5年8月4日まで（3日間）

2 内 容

研究研修名	8月2日「しんゆり・芸術のまちづくりについて」 8月3日「地域資源循環事業について」 〃 「地域デジタル通貨事業について」 8月4日「GPSを活用したごみ収集事業について」
研究研修会場	8月2日 川崎市麻生区「川崎市アートセンター」 8月3日 川崎市川崎区「ペトリファインテクノロジー(株)」 〃 鎌倉市役所 8月4日 座間市役所
参加人員	11名（市川慎二、前田孝雄、川原光男、川股洋一、小橋薫 石井美季、宮利徳、吉永孝之、早坂政芳、矢野浩章 三上まどか）
研究研修内容	各地での研修内容については別紙のとおり ..... .....

（研究研修資料／別紙のとおり）



## 自由民主党 翡翠会 行政視察報告書

\* 報告者

会長 市川 慎二

\* 視察研修参加議員名

市川慎二、川原光男、川股洋一、小橋薫、前田孝雄、石井美季  
宮利徳、早坂政芳、吉永孝之、矢野浩章、三上まどか 計11名

\* 視察研修日程

令和5年8月2日（水）～8月4日（金）の2泊3日

\* 視察研修項目

8月2日（水） 神奈川県川崎市麻生区  
（しんゆり・芸術のまちづくりについて）

8月3日（木） 神奈川県川崎市川崎区  
（地域資源循環型社会の推進について）

神奈川県鎌倉市  
（地域デジタル通貨事業について）

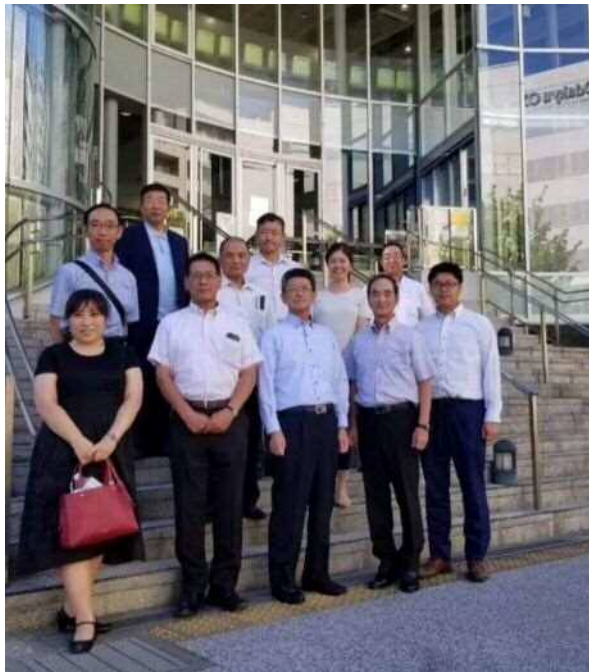
8月4日（金） 神奈川県座間市  
（GPSを活用したごみ収集事業について）

視察研修先 神奈川県川崎市麻生区

視察研修項目 しんゆり・芸術のまちづくりについて

研修先対応者（名刺等）・研修風景（写真等）・研修資料等

\*名刺・写真・資料等\*



## NPO 法人しんゆり・芸術のまちづくりについて

NPO 法人しんゆり・芸術のまちづくりは、新百合ヶ丘駅周辺の芸術関連施設や人材などを活かした街づくりを進めるため、2009年に設立されました。

毎年開催されている新百合ヶ丘のイルミネーションイベント「kirara@アートしんゆり」や、しんゆりフェスティバル・マルシェの前身となる「しんゆりオリーブまつり」を企画運営し、現在に続く地域イベントに大きく貢献して参りました。

現在は、麻生区から委託を受けて芸術文化の情報発信やイベント支援等を行っています。中でもメインとなるのが「しんゆり・芸術のまち」PR マーク・ロゴ（後援）事業です。麻生区内約30カ所にPR ボードを配置し、芸術文化関連イベントのチラシ掲示、しんゆり・芸術のまちホームページによるイベント告知、公式 SNS アカウント (Facebook, Instagram, Twitter) による情報発信を行っています。さらに、アーティストと地域を繋ぐ検索サイト「しんゆりアートナビ」の運営や、地域の方々、活動団体様からのお問い合わせにも対応しています。

### 事業内容

- PR マーク・ロゴの管理、公演・イベントの後援  
麻生区内約30カ所にあるPR ボード（チラシ掲示板）にチラシを掲出  
※「NPO 法人しんゆり・芸術のまちづくり」の後援を承認された公演・イベントに限る
- 新百合ヶ丘駅周辺の地域情報発信、ホームページの運営  
ホームページにて後援イベントの情報掲載、SNS での情報発信、「しんゆり・芸術のまち PR ビジョン」デジタルサイネージによる情報発信、年2回「しんゆり・芸術のまち」情報発信チラシを発行
- アーティスト検索サイト「しんゆりアートナビ」の運営
- バリアフリーマップの更新・活用
- あさお芸術・文化交流カフェの開催、カフェ・グランデ あさおの開催、情報コンシェルジュ
- 「しんゆりステーションピアノ」の事務局運営

### 過去の公演・イベント運営・支援実績

- kirara@アートしんゆり（2008年～2017年）
- アート市 in アルテリッカ（2011年～2019年）
- しんゆりオリーブまつり（2010年～2014年）
- KAWASAKI しんゆり映画祭イベント（2011年～2015年）
- しんゆりステーションピアノ（2019年）
- カフェ・グランデ あさお（2020年～）
- しんゆりステーションピアノプラス（2021年～）

### 過去に行った事業

- しんゆり・芸術のまちフラッグ・コンテスト／しんゆり・フード・フェス／アトリエプロジェクト「しんゆりNOW芸術のまち」ツアー／芸術塾／しんゆりJOY（地域通貨社会実験）プロジェクト／地域活性化ビジョン策定／学生連携情報発信企画／「しんゆり・芸術のまちづくり」フォーラム運営事業／芸術&文化イベント in しんゆり・あさおイベントカレンダー／バリアフリーマップの作成

## 川崎市アートセ

### ■川崎市アートセンターとは

川崎市アートセンターは「しんゆり・芸術のまち」に、新しい文化振興の拠点として平成19年10月31日にオープンしました。

「新百合ヶ丘」駅周辺には、多くの芸術・文化関係者が居住し、昭和音楽大学、日本映画大学などの文化芸術機関も隣接しており、「KAWASAKI しんゆり映画祭」や「麻生音楽祭」など、市民による文化芸術活動が非常に活発に行われています。

川崎市アートセンターは、こうした芸術文化に関する豊かな地域資源を持つ新百合ヶ丘駅周辺地域を「しんゆり・芸術のまち」として、さらに活力のあるまちとして、発展させることを基本理念としています。

### ■運営形態

川崎市アートセンターは、公益財団法人川崎市文化財団、昭和音楽大学グループ（代表者 学校法人東成学園 構成員株式会社ブレルーディオ）及び学校法人映像学園（日本映画大学）で構成する「川崎市文化財団グループ（代表者 川崎市文化財団）」が、第4期の指定管理事業者として、令和4年4月1日から令和9年3月31日まで、事業運営と施設管理運営を担っています。（文化財団グループは第2期から受託）

### ■利用状況

	30年度		元年度		2年度		3年度		4年度	
	劇場	映画	劇場	映画	劇場	映画	劇場	映画	劇場	映画
日数	235	316	218	315	140	265	214	322	242	317
回数	211	1,454	223	1,452	85	1,138	164	1,369	179	1,448
入場者	23,311	61,157	21,518	58,837	4,199	30,347	13,626	36,503	17,457	41,023

### ■決算状況

(円)

	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
入場料収入	70,427,850	70,610,600	37,213,230	48,488,160	52,669,935
施設利用料収入	10,916,565	12,882,400	3,019,810	8,194,310	11,890,480
指定管理料収入	154,510,680	151,790,760	159,089,906	150,056,000	165,738,962
各種補助金収入	14,694,000	165,000	12,567,548	11,182,000	13,172,270
その他収入	3,690,922	2,771,800	3,001,589	3,397,411	8,240,590
収入合計	254,240,017	238,220,560	214,892,083	221,317,881	251,712,237
人件費	57,082,904	57,109,719	56,018,305	55,490,377	57,364,477
業務分担金	39,021,000	38,743,445	39,600,000	39,600,000	49,500,000
その他経費	154,515,056	146,510,619	105,341,640	123,768,022	128,456,140
支出合計	250,618,960	242,363,783	200,959,945	218,858,399	235,320,617
収支差額	3,621,057	△4,143,223	13,932,138	2,459,482	16,391,620

視察研修先 神奈川県川崎市川崎区 ペットリファインテクノロジー(株)

視察研修項目 地域資源循環社会の推進について

研修先対応者 (名刺等)・研修風景 (写真等)・研修資料等

\*名刺・写真・資料等\*



視察研修先 神奈川県鎌倉市

視察研修項目 地域デジタル通貨事業について

研修先対応者（名刺等）・研修風景（写真等）・研修資料等

\*名刺・写真・資料等\*



視察研修先 神奈川県座間市

視察研修項目 GPS を活用したごみ収集事業について

研修先対応者（名刺等）・研修風景（写真等）・研修資料等

\*名刺・写真・資料等\*





恵庭市議会議員行政視察次第

日 時 令和5年8月4日（金）  
午前10時00分から  
場 所 全員協議会室

- 1 開 会
- 2 歓迎のあいさつ
- 3 恵庭市議会 自民党翡翠会会長あいさつ
- 4 担当職員紹介
- 5 視察事項 GPSを使ったゴミ収集事業について
- 6 恵庭市議会 自民党翡翠会幹事長あいさつ

報告書 3-1

視察研修先・神奈川県川崎市麻生区
視察研修項目・しんゆり・芸術のまちづくりについて
報告者・市川愼二
<p>川崎市麻生区 (令和5年8月2日) 午後2時30分～午後4時</p> <p>「NPO 法人しんゆり・芸術のまちづくり」は、地域との連携を図りながら、駅周辺に集まる芸術関連の施設や人材などの地域資源を活かした「まちづくり」を推進することにより、地域の活性化・地域ブランドの確立に寄与することを目的として2009年から活動しております。現在は、麻生区から委託を受けて芸術文化の情報発信やイベント支援等を行い、中でもメインとなるのが「しんゆり・芸術のまち」PRマーク・ロゴ（後援）事業です。麻生区内約30ヶ所にPRボードを配置し、芸術文化イベントのチラシ掲示、ホームページによるイベント告知、SNSアカウントによる情報発信を行っています。</p> <p>更にアーティストと地域を繋ぐ検索サイトの運営、地域の方々、活動団体からの問い合わせなど、幅広くボランティアの力添えいただきながら、事業運営に取り組んでおります。様々な好条件（ホールの充実、所得水準が高い、高齢者施設・医療機関等）が整うなかで課題としては、将来的に次世代にどのように受け継ぐ戦略、手法を見出していかなければならないとのことでありました。</p> <p>また、新しい文化振興の拠点として川崎市アートセンターが平成19年にオープンし現在は、「川崎市文化財団グループ」が指定管理事業者として事業・施設管理運営を担っております。特に、施設のアルテリオ小劇場は、舞台芸術の発信（創る）、担い手の育成（育てる）、鑑賞機会の提供（楽しむ）をコンセプトとして事業を展開しています。客席は傾斜があり見やすく、音が反響しないことから聞き取りやすい特徴を持った、公演に適した小劇場空間です。このことから幅広いジャンルの舞台芸術や鑑賞事業を展開することができます。自ら企画・制作する公演事業を「しんゆりシアター」と名付け、地域の創造発信拠点となる地域劇場を目指し事業を展開しています。また、通年事業として地域との繋がりを最も重視し、企画や出演者だけでなく、当日の運営も地域住民にボランティアスタッフとして参加いただくことで、劇場を身近に感じ、文化芸術を支える意識の醸成にしっかりと取り組んでおります。</p> <p>終わりに、様々な課題解決に向けた体制の見直し、事業の検証等を行い、環境変化に応じ前向きに精力的に取り組まれていることに感銘を受けたところです。この度の調査では、環境の違いはあるものの、恵庭独自の郷土芸能や芸術文化支える体制と文化振興の拠点施設の重要性を目の当たりにし、賑わいづくりと更に活力あるまちまちづくりに向け取り組んで参りたいと思います。</p>

報告書 3-2

視察研修先・神奈川県川崎市
視察研修項目・ペットボトルのリサイクルについて
報告者・市川愼二
<p>ペトリファインテクノロジー(株) (令和5年8月3日) 午前9時～</p> <p>ペットボトルは、世界で最も流通している食品容器です。また、世界では毎分 100 万本ものボトルが販売されていますが、その多くは一度使われたきりで廃棄され、焼却もしくは埋め立て処分です。その一方で、キャップやラベルを取り除くと、単一の素材で作られているペットボトルは、リサイクルに適した素材であります。このことから現在は、他の食品容器と比較しても高い割合で回収され、様々な「もの」に生まれ変わっております。しかしながら、安全面や衛生面から鑑みると飲料用ペットボトルに再生することが望ましいところではありますが、水平リサイクルは非常に難しくごくわずかしかな実現しておりませんでした。</p> <p>そこで、御社はボトルからボトルを作る BRING テクノロジーを開発したところです。これはペットボトルをリサイクルして新たにペットボトルに更生させることができる技術で、これによりペットボトルは資源となりサステイナブルなパッケージに生まれ変わるとともに、加えてこのリサイクルは無限に繰り返すことが可能となります。</p> <p>まさに、SDGs に基づく持続可能な循環型社会への一助になれるものと確信をするところです。</p> <p>終わりになりますが、(株)JEPLAN と恵庭市は昨年12月に「地域資源循環共生圏推進に関する包括連携協定」を締結しました。また、本市もゼロカーボン宣言に基づき、地域全体で脱炭素・ゼロカーボンの推進をしているところではありますが、取り組みが不十分であります。これらのことも踏まえ、締結しただけでは何も起こりません。</p> <p>市民への周知の徹底とともに、ペットボトルに限らず様々な「もの」へのリサイクルの検討と実現にむけた回収手法等も含め、前向きに取り組むことが重要であると認識をしたところです。</p>

視察研修先・神奈川県鎌倉市
視察研修項目・地域デジタル通貨事業について
報告者・市川慎二
<p>鎌倉市 (令和5年8月3日) 鎌倉市役所午後2時～午後3時30分</p> <p>鎌倉市は、平成30年6月に国からSDGs未来都市に選定され、その内容は、「世界に誇れる持続可能なまち鎌倉」の創造とし、目標達成に向け、社会・経済・環境の3つ側面を繋ぐ統合的取り組み、様々なステークホルダーを巻き込む、共通言語は「SDGs」としてこれまでの取り組みを更に推進していくとのこととあります。</p> <p>これを機に、SDGs達成にむけた推進のため、(株)カヤックに委託し、開発したスマートフォン向けアプリ「まちのコイン」を導入しました。ここでの基本は、ポイントによる換金はしない方針であり、令和5年7月時点で全国で24の自治体や企業で導入されています。導入の目的は、それぞれの立場で身近なことから取り組んでもらう「きっかけ」づくり、活動を通じ人や店舗、地域との「つながり」づくり、そして地域課題の解決や地域経済の活性化を目的としております。鎌倉での通貨名は、「クルッポ」で令和5年度予算は、200万円でポイント循環設計、運用支援、加盟店支援、利用促進支援業務などで参加事業者の負担は0であります。利用方法については、コインを「あげる体験」と「もらう体験」があり、「もらう体験」でコインを貯め、貯めたコインを「あげる体験」の時に使用することとなり、お店に行きQRコードを読み込むことでコインが貯まるシステムであります。しかしながら貯まったコインについては、期限を決め0にします。</p> <p>現在の利用者数は、14,413人で、メインターゲットは、鎌倉市が目指す「世界に誇れる持続可能なまち鎌倉」の創造に携わる様々なステークホルダーであります。しかしながら利用対象者については、制限は設けない。</p> <p>鎌倉市は、「生涯にわたって、誰もが安心して、自分らしく暮らせるまち」を目指すため「SDGs」を通じて共生社会に今後とも、更に取り組んで行くことになると思うところです。</p> <p>終わりになりますが、環境変化に応じ市民一体となって、循環型社会に取り組んでいることに感銘を受けたところです。本市も現在、「恵庭市ゼロカーボン宣言」に基づき、地域全体で脱炭素・ゼロカーボンに取り組みを始めたところとありますが、この度の調査で参考となるきっかけともなりましたので、SDGsに基づく循環型社会目指し取り組んで参りたいと思います。</p>

報告書 3-4

視察研修先・神奈川県座間市
視察研修項目・GPS を使ったごみ収集事業について
報告者・市川慎二
<p>座間市 (令和5年8月4日) 座間市役所 午前10時～</p> <p>座間市においては、ごみ回収においては、座間市直営で無料で行われております。 特に、小田急電鉄と連携を図り、タブレットとGPSを活用した収集システム(WOOMS)を活用しております。また、ごみ収集の効率化を図ることによって生まれた余剰時間と人員により剪定枝を資源物として、別途回収することを実現し結果として、ごみの減量が図られている。</p> <p>2020年8月からごみ収集システムを活用した実証実験を実施し、座間市が運用している22台のパッカー車のすべてにタブレットを搭載し、効果測定とアップデートを継続しています。</p> <p>丁寧な業務状況のヒヤリングから始まった取り組みは、持続的な収集効率の向上に繋がり、市民サービスの向上に向けた新たな取り組みにも貢献をしております。</p> <p>本市との収集形態(個別)、委託、無料との大きな違いがあり、比較検討は出来ない状況ではありますが、このGPSを使ったごみ収集システムは効率化が図られ、市民サービスの向上に繋がり参考になりました。</p> <p>また、様々な情報収集では、このGPSシステムを活用し災害時の的確な道路情報、防犯等にと幅広く利用拡大を目指しているとのことでありましたが、本市でも冬の除雪等のこともあり、課題はあるものの多様性のあるGPSシステムの活用に向け、議論を深めて参りたいと思います。</p>

報告書 3-1

視察研修先・神奈川県川崎市麻生区

視察研修項目・しんゆり・芸術のまちづくり

報告者・川原光男

恵庭市民憲章に「知性を高め、かおり豊かな文化のまちをつくりましょう」とあります。

私は、心豊かな住み良い街を目指していくには、誰でもが文化芸術に触れ、心の安らぎをそこに求めていく環境が必要ではないかと考えており、この度の視察に於いて恵庭市の取り組める事柄についての研修を目的としました。

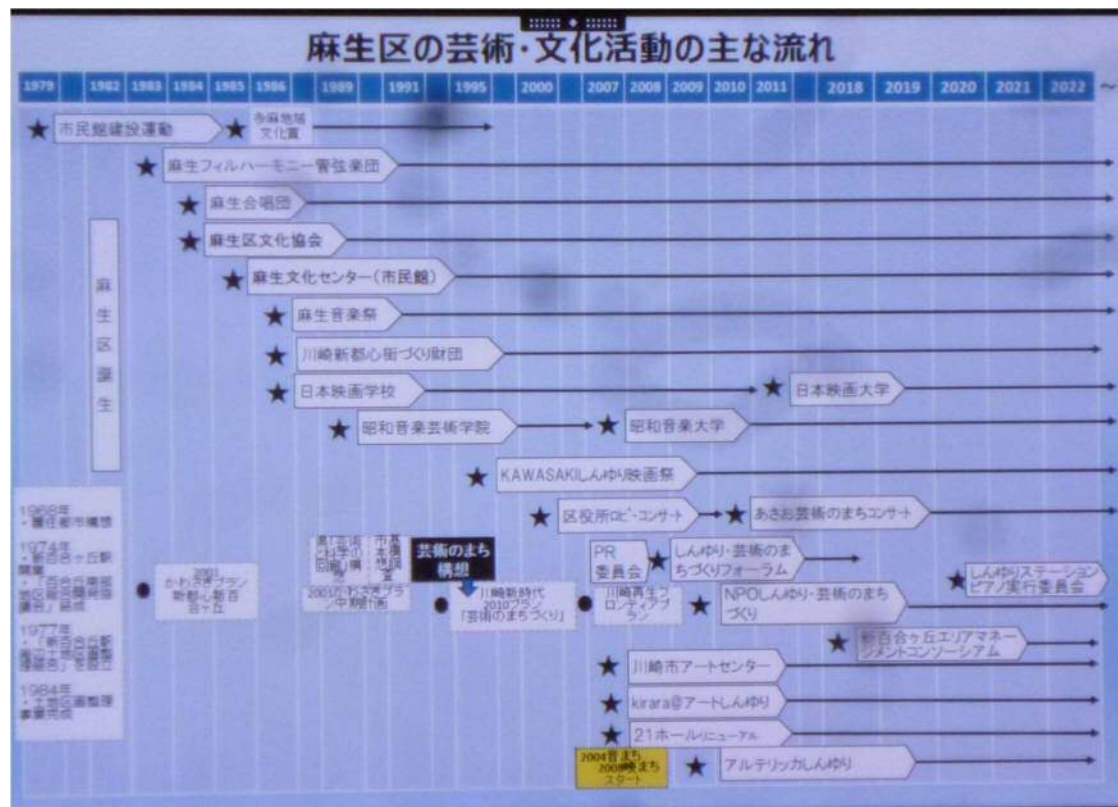
そこで、自治体の規模や住民の構成など恵庭市とは多く違いがあることは理解をしながらも、まちづくりの基本方針である総合計画を見比べてみました。

川崎市「文化芸術活動の振興」「若者文化の発信によるまちづくりの推進」

恵庭市「手を取り合い創造性を育む文化芸術」「公共施設の活用と市民の活力を生かした文化芸術の推進」「生涯を通じてだれもが文化芸術活動を行える環境づくり」とあります。

私は、恵庭市の読書はとても重要であり、条例もあり進めていくべきだが、その他に自身が演じてみることや長けた芸術家の作品を見ること、触れ会うことも能動的にこの恵庭で行える機会を提供できることが必要ではないかと考えました。

是非とも、恵庭市の姿勢としてこのことが総計の位置づけに必要と感じました。



報告書 3 - 2

視察研修先・神奈川県川崎市

視察研修項目・ペットリファインテクノロジー

報告者・川原光男



恵庭市と包括連携協定を締結した工場の視察で、岩元会長より地上資源経済圏の循環の考え方をお聞きし、恵庭市のペットボトルの資源化工程を確認し、汚れなど除去されたのち再生衣類、再生ペットなどの循環を見てきました。地下資源の争奪で戦争になり地上資源の循環が構築できれば戦争はなくなるとの、資源循環の強い決意を感じました。

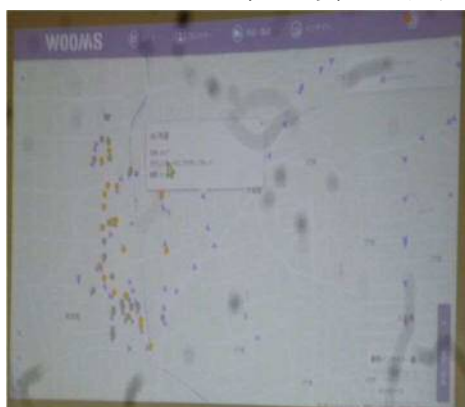
### 報告書 3-3

視察研修先・神奈川県鎌倉市
視察研修項目・地域デジタル通貨事業
報告者・川原光男
<p>まちのコイン</p> <p>神奈川県が県内におけるSDGsの達成に向けた取り組みとして、「株式会社カヤック」に委託し開発したスマートフォン向けアプリ。それを鎌倉市が導入し“まちのコイン”として「クルッポ」名で導入したもの。</p> <p>財源として、県からの地方創生事業としての補助金で実施されている。</p> <p>令和3年1月に導入</p> <p>目的は、市内のSDGs達成に向けた取り組みを通じて、それぞれの立場で身近なことから取り組んでもらう「きっかけ」づくり、活動を通じた人や店舗、地域との「つながり」づくり、それによる、地域課題の解決や地域経済の活性化を目的としている。</p> <p>当初開発予算500万円、以後各年200万円の予算となっている。</p> <p>利用方法は、コインを「あげる体験」と「もらう体験」があり、80日以内に使用しなければ消滅してしまう仕組みとなり流動性を図っている。</p> <p>ユーザー数は、14,413人 スポット数は、366スポット</p> <p>換金性はなし</p> <p>※ 私の考察</p> <p>本市で行われているボランティアポイント制度に似ているのではと感じた。</p> <p>しかし、事業目的にある地域課題の解決や地域経済の活性化に繋がっていくには、はなはだ疑問と感じた。</p> <p>市民に「まちのコイン」アプリをわざわざインストールし目的に沿った活動を促すには、それなりの仕組みや仕掛けが必要ではないか？</p> <p>それを見えなかったのが残念だった。</p> <p>また、地域内のプレミアム通貨の循環による持続可能性を狙った言葉通りの「まちのコイン」の方が市民からのニーズは高いのではないだろうか？</p> <p>そのことが、ユーザー数に表れているのではないか？</p> <p>14万人都市であれば、登録者数は少なすぎると思うのは私だけだろうか？</p> <p>此のことについては、失礼と思い質問はしなかった。</p>



告書 3-4

視察研修先・神奈川県座間市
視察研修項目・GPS を使ったごみ収集事業
報告者・川原光男
<p>GPSの利用は、小田急電鉄（株）と利用協定を結ぶ「ウームス」システムを導入</p> <p>現在は、モニターとして活用しており、賃貸借契約を7年間で契約をしている。費用は、月額110万円となっている。</p> <p>24台のゴミ収集車に、それぞれiPadを搭載しており、収集コースをその時の状況で振り分けを実施しており、収集コースの無駄としない選択をするようになっている。</p> <p>焼却施設は、広域の3市町で行っており、座間市からは搬入に1時間程が掛かる距離にあり、収集の最適化は絶対費用性を求められることとなっている。</p> <p>その結果、可燃ごみの搬入経費は16%減の1,800回の減少を生み出すことが出来た。</p> <p>そのことによる家庭ごみの減量状況は、7.7%の減少で1,630トンが削減された。その理由は、今までは草木も可燃ごみとしていたが、通報ボタンの稼働により「ウームス」システムによる収集と分けてリサイクルへと変更したことによる削減とのこと、戸別収集ではなく拠点収集方式となっている仕組みであり、本市とはいささかの相違を感じる。</p> <p>改めて、本市の廃棄物循環型処理システムと独自に稼働させている焼却施設の有効性と「綺麗で安全で安心な生活空間」を、恵庭市が実践していることを確認できた。</p> <p>このGPSシステムの本市の除雪体制への導入には、未実施の把握には有効かもしれないが現場に落とし込んだ時の道路幅、交差点、通学路など難解で複雑な現場が存在しており、このシステム導入の費用対効果を見出すには、まだまだ改善が必要と感じた</p>



報告書 3-1

視察研修先・神奈川県川崎市麻生区
視察研修項目・しんゆり芸術のまちづくり
報告者・川股洋一
<p>* 議員個々の考察と見解 *</p> <p>しんゆり芸術のまちづくりは、地域の文化や芸術活動を活性化させる取り組みでありました。</p> <p>私は、この取り組みにはとても興味を持っています。</p> <p>まず、しんゆり芸術のまちづくりは、地域の特産品や歴史、伝統芸能などを活かして、地域のアイデンティティを強化する点が素晴らしいと思います。地域独自の文化や芸術が大切にされ、地域住民自身はその価値を認識し、愛着をもって関わっていけることは、地域の結束力や活気を生み出す要素となります。</p> <p>また、しんゆり芸術のまちづくりは、観光資源としての価値を高める効果も期待できます。地域の芸術や文化が魅力的に発信され、観光客が増加することで地域経済の活性化を図ることができます。観光客が訪れることによって、地域に新たな刺激や交流が生まれることもあるでしょう。</p> <p>更に、しんゆり芸術のまちづくりは、地域の子供たちや若い世代にとっても良い影響を与えたいと思います。芸術活動の場が拡充されることで、子供たちや若者が芸術に触れる機会が増え、才能の発掘や育成が進むでしょう。これにより、地域の芸術文化が後世に継承されることにもつながります。</p> <p>以上、しんゆり芸術のまちづくりには多くの魅力があると感じます。地域の文化や芸術を活性化させ、地域のアイデンティティの強化や地域経済の活性化、若い世代への影響など、多方面での効果が期待できます。これからもしんゆり芸術のまちづくりが進むことを期待しています。</p>

報告書 3-2

視察研修先・神奈川県川崎市
視察研修項目・環境リサイクルの取り組み
報告者・川股洋一
<p>* 議員個々の考察と見解 *</p> <p>「あらゆるものを循環させる」 「大量に捨てられている服を循環させたい」</p> <p>この会社を立ち上げたのは、そんな単純な思いからですと会長は語ります。</p> <p>服に限らず役割を終えたあらゆる「もの」を循環させることで、これまで私たちが依存してきた石油に代表される地下資源や、製造の過程で消費されるエネルギーの量も削減し、CO<sub>2</sub>などの温室効果ガスを減らす事にもつながってゆきます。</p> <p>循環は、世界全体が向き合わなくてはならない「サステイブルな社会の実現」と言う課題に向きあう事につながります。</p> <p>JEPLANは、日常の中で喜びや夢、驚きをかき立てる、楽しい循環の取り組みを行っております。</p> <p>例えば、みなさまの手元から回収した不要なもので「映画のワンシーンを再現する」等、リサイクルを活用した新しいモノづくりを多くの皆様方と共有することで、リサイクルを通じて地球環境の保護や資源の有効活用に取り組むことが、皆様方の参加する環境循環型社会とつながります。</p> <p>そんな社会が生み出すのは、地下資源をめぐる紛争が減り、地球温暖化問題解決への第一歩に向かい問題解決への道筋を切り開き、未来を担う子供達が安心して暮らせる社会につながり、社会全体が手を取り合い、あらゆるものを循環させる。そんなワクワクする世界を目指しています。</p> <p>今回は、JEPLANの工場を訪問し、その取り組みや仕組みについてお伺いしました。JEPLANの工場では、まず最初にリサイクルのプロセスについて詳しく会長より直々に、ご説明していただきました。</p> <p>使用済み衣料品や不要な布地などの廃棄物をリサイクルし、新しい繊維製品に再生するプロセスが行われています。</p> <p>例えば、北海道マラソン2023のオフィシャルウェアパートナーとして、大会記念Tシャツ製品のボディにBRINGのロゴの入ったTシャツ製品を採用し、昨年のランナーなどから回収した不要なランニングウェア等を再生ポリエステル原料に使用した大会Tシャツ採用しました。</p> <p>その際には、古着や布地を分解し、再利用可能な繊維を取り出すための技術や機械が使用されていました。</p>

また、JEPLANでは廃棄物をリサイクルするだけでなく、そのリサイクルによって得られる繊維製品を自社で販売する取り組みも行っています。工場内のショールームでは、リサイクルされた繊維を使用した洋服や布製品が展示されていると、お伺いしました。高品質かつ環境に配慮した商品が多く、注目を集めているとの事です。

また、JEPLANのスタッフの方々から企業の理念や取り組みについても説明を受けました。彼らは、地球環境の保護や資源の有効活用に向けて、リサイクル技術の開発や普及に努めており、世界中の企業330社にも及ぶさまざまなパートナーシップや連携を築いていることを教えてくださいました。

JEPLANの見学を通じて、リサイクル技術を活用した環境への取り組みの重要性や可能性を改めて実感しました。JEPLANのような企業の存在は、私たちが直面している資源問題や環境問題に向き合う上で、大きな希望となると感じました。

以上、JEPLANの見学報告でした。リサイクル技術の進化や普及がより広がり、持続可能な社会の実現に一役買っていくことを願っています

視察研修先・神奈川県鎌倉市
視察研修項目・地域デジタル通貨
報告者・川股洋一

**\* 議員個々の考察と見解 \***

鎌倉市デジタル通貨「クルッポ」は、鎌倉市が独自に発行している仮想通貨です。クルッポは、市内の特定の事業者との取引において利用することができます。

このデジタル通貨の導入は、地域経済の活性化や地域貢献を促進するために行われています。市内の参加事業者とクルッポを利用することで、地域資源の有効活用や地域の交流促進を目指しています。鎌倉市、コミュニティ通貨「まちのコイン」を使った「SDGs つながりポイント事業」を運用開始～コロナ禍を機に地域の魅力再発見、市民と事業者が「共創」するまちづくりに活用～株式会社カヤック(本社：神奈川県鎌倉市、代表取締役CEO：澤大輔)が開発・提供するコミュニティ通貨(電子地域通貨 サービス「まちのコイン」が、鎌倉市の「SDGs つながりポイント事業」で導入されました。

本事業は、鎌倉市におけるSDGsへの意識醸成、人やコミュニティ等とのつながりの創出及び、その可視化を通じて、地域課題の解決や地域経済の活性化、SDGsの達成に向けた取組の推進を目的に実施されます。2021年1月5日(火)からスポット登録を開始し、1月19日(火)から鎌倉市全域でポイント運用を開始しました。



本事業は、神奈川県が、SDGsの達成を図るため、地域の社会的課題の解決に向けた活動に、カヤックが開発したコミュニティ通貨（電子地域通貨 サービス「まちのコイン」）を活用し、住民、店舗・企業の直接・間接的な参加を促し、地域活性化とSDGsの”自分ごと化”を図ることを目的に立ち上げました。

鎌倉市は、2018年6月に国から「SDGs未来都市」に選定されるとともに、第3次鎌倉市総合計画第4期基本計画にSDGsの理念を反映させる等、SDGs達成に向けた取組を推進しています。2019年11月21日から12月18日までの約4週間、鎌倉市御成町近辺のエリアで実施された本事業の実証実験は、プラごみ削減やフードロス対策などの活動でポイントを獲得・利用でき、SDGsに関する活動をより身近に楽しく”自分ごと化”できる機会となりました。

また一方で、現在拡輔する新型コロナウイルス感染症により、鎌倉市でも地域経済、特に飲食店に大きな影響を及ぼしています。その中で地元を応援したいと考える市民も多く、市民の有志がテイクアウトマップを作成したり、当社でもテイクアウト店舗リストを当社サイトに掲出するなど事業者を支援する活動が出てきています。こうした市民と地元のお店・事業者のつながりをつくるきっかけとしても「SDGsつながりポイント」は活用できると考え、導入は決定されました。

コミュニティ通貨サービス「まちのコイン」の特長と仕組みについて、「まちのコイン」は使えば使うほど、人と人が仲良くなるコミュニティ通貨（電子地域通貨 サービス）です。本通貨を活用することで、地域内外の人のつながりをつくり、良好な地域コミュニティ形成が期待できます。

#### 【特長】

##### 1. 仕事とボランティアの”間”にある共助活動を促進

金銭のやり取りがある仕事だと気後れしたり、ボランティアだと参加する人が限られたり。その間にある地域の共助活動へ参加する動機付けとして活用でき、SDGs活動参加へのハードルを下げるのが期待できます。

##### 2. ゲーム感覚で楽しめる仕組み

参加頻度でボーナスポイントが付与されたり、ポイントが増えるとレベルアップしたりと、楽しみながら、自然と地域活動や地元のお店に触れる機会を創出します。また他者の活動履歴が公開され、「つかう」「もらう」のランキングが表示されるので、競い合いながら、自分の活動を広げるきっかけにもなります。

##### 3. 地域外の人でも使える開かれたコミュニティ通貨

鎌倉市外の人でも利用可能です。市内外の人が一緒に地域活動に参加したり、市外の人地元のお店を利用したり、関係人口の創出にも繋がります。

## 【仕組み】

「まちのコイン」アプリをダウンロードし、QRコードを介して、ユーザーがポイントを獲得、利用できます。ユーザーは地域活動などに参加するとポイントを獲得し、獲得したポイントは加盟店等で利用することができます

\*円に換金することはできません。ポイントは発行から80日で利用できなくなります。

## ●事業概要を説明します。

開始時期：2021年1月19日（火）

利用場所：鎌倉市大船地区、鎌倉駅周辺、腰越地区の店舗  
利用方法：「まちのコイン」アプリをApp StoreおよびGoogle Playでダウンロードし、1月19日（火）から地域表示を「鎌倉」に選択し利用開始 「SDGsつながりポイント」導入スポット（加盟店、団体）の募集開始

1月5日（火）から「まちのコイン」を導入いただけるスポット（加盟店、団体）の募集を開始いたしました。導入は無料で、スマートフォンにスポット用アプリをダウンロードいただき、ポイントの獲得・利用方法を示す”チケット”を作成いただきます。お店のPRやファンづくりにもつながります。

株式会社カヤックは、固定概念にとらわれない発想力・企画力、形にしていく技術力を強みに、ゲームアプリや広告・Webサイト制作を始め、最新テクノロジーとアイデアを掛け合わせた新しい体験をユーザーに提供しています。社員の9割にあたる約270名がデザイナーやプログラマーなどのクリエイター人材で「つくる人を増やす」を経営理念に多様性を生かしたユニークな人事制度や経営を行なっている会社です。

設立は、2005年1月21日

代表者 代表取締役 澤大輔 貝畑政徳 久場智喜

所在地 神奈川県鎌倉市御成町 11-8

事業内容 日本的面白コンテンツ事業

視察研修先・神奈川県座間市
視察研修項目・小田急電鉄と連携したゴミ収集
報告者・川股洋一
<p>* 議員個々の考察と見解 *</p> <p>小田急電鉄と連携したゴミ収集システムについて (WOOMS)</p> <p>神奈川県座間市において、2019年にウェイストマネジメント事業 (WOOMS) が始まりました。(WOOMS) は、廃棄物の管理に特化したサービスを提供し、企業や自治体などの組織に対して廃棄物の適正な処理やリサイクル方法を効率的に管理するためのソリューションを提供しております。</p> <p>WOOMSの大きな柱は、「収集・排出サポート」と「資源循環サポート」の2つであり「収集・排出」サポートは、ゴミ集積所の位置情報、収集状況をデジタルテクノロジーで一元管理し、作業の生産性を上げる(余力を生む)こと及び、「資源循環サポート」は、そこでできた余力により資源循環を高める施策を提供する。と言うものです。</p> <p>座間市のクリーンセンターは、旧市役所の跡地に建てられており、中央にある大きなモニターに座間市全体の収集ポイント、収集管理、ルート管理、ルート調整、運転支援等が反映され、個別車両には、タブレットを搭載、そのまま通過するだけで、収集ポイントの自動検知、収集量管理、収集支援、車両管理、不法投棄や道路状況の情報を撮影し、管理担当部署に迅速な報告を行うインフラチェック等が行われます。市民に対してリアルタイムの運行状況が収集車の現在地や状況をWEBにて確認する事が出来るシステムとなっております。</p> <p>このような、効率的なゴミ収集方法について小田急電鉄と連携した事により、ゴミ収集のルートやスケジュールが最適化されました。これにより、ゴミの収集効率が大幅に向上し、地域の清潔さが維持されています。</p> <p>また、ゴミ収集システムには、分別の徹底も含まれており、専用の分別用ゴミ箱や適切なマークが設けられています。これにより、地域住民の分別意識が高まり、ゴミのリサイクル率が向上しています。</p> <p>周知活動の充実がはかれるよう小田急電鉄は、ゴミ収集システムの導入に伴い、周辺の住民に対してSDGsや環境教育等の啓発活動を行い、ポスターやチラシなどを使用して正しいゴミの分別方法や収集日程なども広く知らされておりました。</p> <p>システムの導入初期には、設備不足や周知不足といった課題がありました。しかし、小田急電鉄との密な連携により、これらの課題を解決するための改善策が迅速に取り組みられ、現在では、環境への貢献やゴミの効率的な収集と分別により、地域の環境美化や廃棄物の減量に一定の効果が見られています。この DX を通じた収集業務や事務事業の効率化を支援し、生まれた余力で資源循環(座間市に於いては、剪定枝の回収)を更に推進する施策を立案し、地域全体での環境保全に貢献していました。</p>



以上、小田急電鉄と連携したゴミ収集システムに関する感想です。導入効果や課題の克服など、さまざまな面での好評を得ていることがわかります。引き続きシステムの改善や地域の清潔な環境維持に努めることが求められますし、災害時での応用など幅広く利活用できる可能性を感じております。

また、寒冷地においては、除排雪や交差点除排雪等の優先度や進捗管理、通行・交通障害等の把握などにも素早く現場対応が可能な体制作りにも利用でき得ると考えております。

報告書 3-1

視察研修先・神奈川県川崎市麻生区
視察研修項目・しんゆり・芸術のまちづくり事業について
報告者・小橋 薫
<p>* 議員個々の考察と見解 *</p> <p>しんゆり芸術のまちづくりは、地域の文化や芸術活動を活性化させる取り組みである。私は、この取り組みにはとても好意的な感想を持っています。</p> <p>まず、しんゆり芸術のまちづくりは、地域の特産品や歴史、伝統芸能などを活かして、地域のアイデンティティを強化する点が素晴らしいと思います。地域独自の文化や芸術が大切にされ、地域住民自身はその価値を認識し、愛着をもって関わっていけることは、地域の結束力や活気を生み出す要素となります。</p> <p>また、しんゆり芸術のまちづくりは、観光資源としての価値を高める効果も期待できます。地域の芸術や文化が魅力的に発信され、観光客が増加することで地域経済の活性化を図ることができます。観光客が訪れることによって、地域に新たな刺激や交流が生まれる事は大変重要なことである。</p> <p>さらに、しんゆり芸術のまちづくりは、地域の子供たちや若い世代にとっても良い影響を与えたいと思います。芸術活動の場が拡充されることで、子供たちや若者が芸術に触れる機会が増え、才能の発掘や育成が進むことが考えられる。これにより、地域の芸術文化が後世に継承されることにもつながります。</p> <p>以上、しんゆり芸術のまちづくりには多くの魅力があると感じます。地域の文化や芸術を活性化させ、地域のアイデンティティの強化や地域経済の活性化、若い世代への影響など、多方面での効果が期待できます。これからのしんゆり芸術のまちづくりが進むことを期待しています。</p> <p>また、このような先進地事例から、今後予定されている市立図書館の大規模改修に関し先進地事例が参考になる取り組みを提案していきたいと考える。</p>

## 報告書 3-2

視察研修先・神奈川県川崎市
視察研修項目・JEPLAN について
報告者・小橋 薫
<p>* 議員個々の考察と見解 *</p> <p>現在、本市で取り組みを開始したペットボトルリサイクル事業の工程を現地調査にてより一層理解ができた事は大変重要である。</p> <p>JEPLANは、リサイクルを通じて地球環境の保護や資源の有効活用に取り組んでいる企業です。私は、JEPLANの工場を訪問し、その取り組みや仕組みについて見学する機会を得ました。</p> <p>訪問したJEPLANの工場では、まず最初にリサイクルのプロセスについて詳しく説明していただきました。使用済み衣料品や不要な布地などの廃棄物をリサイクルし、新しい繊維製品に再生するプロセスが行われています。その際には、古着や布地を分解し、再利用可能な繊維を取り出すための技術や機械が使用されていました。</p> <p>また、JEPLANでは廃棄物をリサイクルするだけでなく、そのリサイクルによって得られる繊維製品を自社で販売する取り組みも行っています。工場内のショールームでは、リサイクルされた繊維を使用した洋服や布製品が展示されていました。高品質かつ環境に配慮した商品が多く、注目を集めていました。</p> <p>また、訪問の際には、JEPLANのスタッフの方々から企業の理念や取り組みについても説明を受けました。彼らは、地球環境の保護や資源の有効活用に向けて、リサイクル技術の開発や普及に努めており、さまざまなパートナーシップや連携を築いていることを教えてくださいました。</p> <p>JEPLANの見学を通じて、リサイクル技術を活用した環境への取り組みの重要性や可能性を改めて実感しました。JEPLANのような企業の存在は、私たちが直面している資源問題や環境問題に向き合う上で、大きな希望となると感じました。</p> <p>以上、リサイクル技術の進化や普及がより広がり、持続可能な社会の実現に一役買っている。</p>

視察研修先・神奈川県鎌倉市
視察研修項目・地域デジタル通貨事業について
報告者・小橋 薫

**\* 議員個々の考察と見解 \***

鎌倉市デジタル通貨「クルッポ」は、鎌倉市が独自に発行している仮想通貨です。クルッポは、市内の特定の事業者との取引において利用することができます。

このデジタル通貨の導入は、地域経済の活性化や地域貢献を促進するために行われています。市内の参加事業者とクルッポを利用することで、地域資源の有効活用や地域の交流促進を目指しています。

鎌倉市、コミュニティ通貨「まちのコイン」を使った「SDGsつながりポイント事業」を1月19日から運用開始

～コロナ禍を機に地域の魅力再発見、市民と事業者が「共創」するまちづくりに活用～

株式会社カヤック 2021年1月5日

株式会社カヤック(本社：神奈川県鎌倉市、代表取締役 CEO：柳澤大輔)が開発・提供するコミュニティ通貨(電子地域通貨)サービス「まちのコイン」が、鎌倉市の「SDGsつながりポイント事業」で導入されることをお知らせいたします。本事業は、鎌倉市におけるSDGsへの意識醸成、人やコミュニティ等とのつながりの創出及び、その可視化を通じて、地域課題の解決や地域経済の活性化、SDGsの達成に向けた取組の推進を目的に実施されます。本日1月5日(火)からスポット登録を開始し、1月19日(火)から鎌倉市全域でポイント運用を開始します。



**\*事業背景：SDGsの”自分ごと化”と市民・事業者の「共創」によるまちづくりを推進**

本事業は、神奈川県が、SDGsの達成を図るため、地域の社会的課題の解決に向けた活動に、カヤックが開発したコミュニティ通貨（電子地域通貨）サービス「まちのコイン」を活用し、住民、店舗・企業の直接・間接的な参加を促し、地域活性化とSDGsの”自分ごと化”を図ることを目的に立ち上げました。

鎌倉市は、2018年6月に国から「SDGs未来都市」に選定されるとともに、第3次鎌倉市総合計画第4期基本計画にSDGsの理念を反映させる等、SDGs達成に向けた取組を推進しています。2019年11月21日から12月18日までの約4週間、鎌倉市御成町近辺のエリアで実施された本事業の実証実験は、プラごみ削減やフードロス対策などの活動でポイントを獲得・利用でき、SDGsに関する活動をより身近に楽しく”自分ごと化”できる機会となりました。

また一方で、現在拡大する新型コロナウイルス感染症により、鎌倉市でも地域経済、特に飲食店に大きな影響を及ぼしています。その中で地元を応援したいと考える市民も多く、市民の有志がテイクアウトマップを作成したり、当社でもテイクアウト店舗リストを当社サイトに掲出するなど事業者を支援する活動が出てきています。こうした市民と地元のお店・事業者のつながりをつくるきっかけとしても「SDGsつながりポイント」は活用できると考え、導入が決定いたしました。

**\*コミュニティ通貨サービス「まちのコイン」の特長と仕組み**

「まちのコイン」は使えば使うほど、人と人が仲良くなるコミュニティ通貨（電子地域通貨）サービスです。本通貨を活用することで、地域内外の人のつながりをつくり、良好な地域コミュニティ形成が期待できます。

**【特長】**

**1. 仕事とボランティアの”間”にある共助活動を促進**

金銭のやり取りがある仕事だと気後れしたり、ボランティアだと参加する人が限られたり。その間にある地域の共助活動へ参加する動機付けとして活用でき、SDGs活動参加へのハードルを下げることが期待できます。

**2. ゲーム感覚で楽しめる仕組み**

参加頻度でボーナスポイントが付与されたり、ポイントが増えるとレベルアップしたりと、楽しみながら、自然と地域活動や地元のお店に触れる機会を創出します。また他者の活動履歴が公開され、「つかう」「もらう」のランキングが表示されるので、競い合いながら、自分の活動を広げるきっかけにもなります。

### 3. 地域外の人でも使える開かれたコミュニティ通貨

鎌倉市外の人でも利用可能です。市内外の人と一緒に地域活動に参加したり、市外の人が地元のお店を利用したり、関係人口の創出にも繋がります。

#### 【仕組み】

「まちのコイン」アプリをダウンロードし、QRコードを介して、ユーザーがポイントを獲得、利用できます。ユーザーは地域活動などに参加するとポイントを獲得し、獲得したポイントは加盟店等で利用することができます

\*円に換金することはできません。ポイントは発行から80日で利用できなくなります。

#### ・事業概要

開始時期：2021年1月19日（火）

利用場所：鎌倉市大船地区、鎌倉駅周辺、腰越地区の店舗  
利用方法：「まちのコイン」アプリをApp StoreおよびGoogle Playでダウンロードし、1月19日（火）から地域表示を「鎌倉」に選択し利用開始

#### ・「SDGsつながりポイント」導入スポット（加盟店、団体）の募集開始

本日1月5日（火）から「まちのコイン」を導入いただけるスポット（加盟店、団体）の募集を開始いたしました。導入は無料で、スマートフォンにスポット用アプリをダウンロードいただき、ポイントの獲得・利用方法を示す”チケット”を作成いただきます。お店のPRやファンづくりにもつながりますので、ぜひ関心のある方はお気軽にお問い合わせください。

株式会社カヤック

<https://www.kayac.com/>

固定概念にとらわれない発想力・企画力、形にしていく技術力を強みに、ゲームアプリや広告・Webサイト制作を始め、最新テクノロジーとアイデアを掛け合わせた新しい体験をユーザーに提供しています。社員の9割にあたる約270名がデザイナーやプログラマーなどのクリエイター人材で「つくる人を増やす」を経営理念に多様性を生かしたユニークな人事制度や経営を行なっています。

設立 2005年1月21日

代表者代表取締役 柳澤大輔 貝畑政徳 久場智喜

所在地神奈川県鎌倉市御成町11-8

事業内容日本的面白コンテンツ事業

視察研修先・神奈川県座間市
視察研修項目・GPS を使ったゴミ収集事業について
報告者・小橋 薫
<p>* 議員個々の考察と見解 *</p> <p>私は小田急電鉄と連携したゴミ収集システムについて、以下のような感想を持っています。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 効率的なゴミ収集：小田急電鉄との連携により、ゴミ収集のルートやスケジュールが最適化されました。これにより、ゴミの収集効率が大幅に向上し、地域の清潔さが維持されています。</li><li>2. 分別の促進：ゴミ収集システムには、分別の徹底も含まれており、専用の分別用ゴミ箱や適切なマークが設けられています。これにより、地域住民の分別意識が高まり、ゴミのリサイクル率が向上しています。</li><li>3. 周知活動の充実：小田急電鉄は、ゴミ収集システムの導入に伴い、周辺の住民に対して啓発活動を行っています。ポスターやチラシなどを使用し、正しいゴミの分別方法や収集日程などを広く知らせています。</li><li>4. 課題の克服：システムの導入初期には、設備不足や周知不足といった課題がありました。しかし、小田急電鉄との密な連携により、これらの課題を解決するための改善策が迅速に取り組みられました。</li><li>5. 環境への貢献：ゴミの効率的な収集と分別により、地域の環境美化や廃棄物の減量に一定の効果が見られています。このシステムの導入により、地域全体での環境保全に貢献しています。</li></ol> <p>以上、小田急電鉄と連携したゴミ収集システムに関する感想です。導入効果や課題の克服など、さまざまな面での好評を得ていることがわかります。引き続きシステムの改善や地域の清潔な環境維持に努める必要があります。</p>

視察研修先・神奈川県川崎市麻生区
視察研修項目・しんゆり・芸術のまちづくりについて
報告者・翡翠会幹事長 前田孝雄
<p><b>1 全般</b></p> <p>川崎市は令和5年8月1日現在、人口1,545,091人、近年5年間人口が増加し続けている政令指定都市であり、しんゆり芸術の街として知られている。</p> <p>その核心となるのが平成19年10月にオープンした川崎市アートセンターである。</p> <p>「新百合ヶ丘」駅周辺には、多くの芸術・文化の関係者が居住し、昭和音楽大学、日本映画大学等の文化芸術機関が隣接しており、文化・芸術の土壌があり、市民による文化・芸術活動が非常に活発に行われている。そこで、市民文化局山本担当課長、しんゆり芸術のまちづくり白井理事長、関川崎市アートセンター館長にご臨席頂き、丁寧な生の声を聞いた事が大変貴重であり、視察対応に心から感謝申し上げます。</p> <p><b>2 視察に当たっての教訓事項</b></p> <p><b>(1) 良かった点</b></p> <p>① 最大のポイントは「芸術のまちづくり」に対する情報の発信力である。</p> <p>「しんゆり・芸術のまち」PRマーク・ロゴ、麻生区内約30カ所にPRボードを設置し、イベントチラシの掲示、芸術のまちHPにイベント告知、公式SNSアカウント（FB、Insuta、Twitter）、しんゆりアートナビの活用</p> <p>② 「芸術・文化交流カフェ」「カフェ・グランデあさお」情報交換等の場、また、ステーションピアノの開催による地域市民との一体感を図っている。</p> <p><b>(2) 質疑に対する回答から見えた成果と課題</b></p> <p>① 公益財団法人として、国から約8%助成を受けての事業であり、開館16周年が経過し、劣化した機器類、備品類の計画的な換装及び光熱費の高騰に対する対応</p> <p>② お客様の声を即時に施策・事業などに反映出来るシステムの構築</p> <p><b>3 本市に反映すべき事項</b></p> <p><b>(1) 芸術のまちづくり構想の構築に向けた検討の実施</b></p> <p>財団法人で国から1千万円相当の助成を受け運営しているが、本市も規模は小さいが、4月から「恵庭市芸術を語る会」を発足、5年・10年先を見据えた「芸術のまちづくり」の構想を検討すべきである。</p> <p><b>(2) 芸術・文化の核心（拠点）と成り得る施設整備、組織を検討すべきである。</b></p> <p>① 恵庭駅前通りの賑わいを作るため、旧まなび館を利活用して、芸術・文化の発信地としてのリニューアルを検討すべきである。</p> <p>市民活動センターとの連携、一体化</p> <p>② 恵庭市文化協会と連携し、芸術・文化・音楽に取り組んでいる団体等一堂に会して法人化に向けた取組が必要と思料する。</p> <p><b>(2) 市議会として議会コンサート等を施行し、情報発信のツールとする。</b></p> <p>① 年4回の定例会初日に議場コンサート等を実施し、芸術発信をバックアップする</p> <p>② 川崎市同様に恵庭市にゆかりのあるアーティストと地域の皆さまを繋ぐアーティスト検索「恵庭市議会アートナビ」を開設し、幅広い出演者の確保を図る。</p>



視察研修先・神奈川県川崎市 株式会社 JEPLAN
視察研修項目・ゴミのリサイクルの取り組みについて
報告者・翡翠会幹事長 前田孝雄
<b>1 全般</b> <p>2022年12月21日に株式会社JEPLANと「地域資源循環共生圏に関する包括連携協定」を締結しました。その協定の取り組みは以下の通りである。</p> <b>(1) 地域資源循環に向けた取組の推進</b> <ul style="list-style-type: none"><li>① 重点取り組み内容協議におけるビジネス的・技術的視点からの助言</li><li>② ペットボトルをはじめとする地域資源循環システムの構築</li><li>③ 資源循環に係わる社会コスト削減に向けた取組の推進</li></ul> <b>(2) 消費行動の機運醸成の推進に関すること</b> <ul style="list-style-type: none"><li>① 市民の行動変容・意識改革に繋がる機会創出（市民参加型イベントの実施、循環型製品販売、教育機関との連携等）</li><li>② 関連事業者の巻き込みや協働により社会課題の活動を行って行く活動の創出 その協定を結んだJEPLANの創業者「岩本美智彦会長」に多忙な中、直接講義を頂き「リサイクルには夢しかない。」との発信に、ご自身がドキドキ・ワクワクしながら楽しそうにリサイクルを語られている姿に感動し、気持ちが引き寄せられました。岩本会長には、心から敬意と感謝を申し上げます。</li></ul>
<b>2 視察に当たっての教訓事項</b> <b>(1) 良かった点及び課題等</b> <ul style="list-style-type: none"><li>① ペットボトルからペットボトルを作るBRING Technologyを開発し、地下資源の活用から地上資源の活用で、サステイナブル、ケミカルリサイクルを生み出した。今後全世界のペットボトルがこの方式に生まれ変わる画期的事業</li><li>② BRINGと言うプロジェクトを通じて、使用済み衣類の再利用する事で、廃棄される繊維の量を減らし、限られた資源の効果的な利用に貢献している。 ポリエステル繊維を再生ポリエステル原料に変換し、新しい衣類に替える事業</li></ul> <b>(2) 質疑に対する回答から見えた成果と課題</b> <ul style="list-style-type: none"><li>① プラスチックゴミの仕分け等の人件費等コストダウンの施策について</li><li>② ペットボトルの蓋の改善（蓋をしたまま資源に出来る改良をできないものか）</li></ul>
<b>3 本市に反映すべき事項</b> <b>(1) リサイクルの楽しさを伝える努力、ドキドキ・ワクワクなリサイクルの追求</b> <ul style="list-style-type: none"><li>① 本市がJEPLANと昨年12月21日に協定を交わした事、そして現状のゴミ行政の取り組みについて、興味を持たせる広報・発信が必要と感じた。</li><li>② 係る観点から現在コストの掛かっているプラスチックゴミの今後の取り組み（方向性）についてヒントを頂いたので、検討すべき価値は有ると思料する。</li><li>③ 本市の服の回収事業をもう少し「見える化」し、積極的に進めるべきで有る。 現状では、発展性に乏しいと感じる。</li></ul>

視察研修先・神奈川県鎌倉市
視察研修項目・地域デジタル通貨事業について
報告者・翡翠会幹事長 前田孝雄
<p><b>1 全般</b></p> <p>鎌倉市の人口は、令和4年10月現在172,428人で、昭和60年の175,495人をピークに減少傾向にあります。</p> <p>また、市議会の状況は、議員数26名（男性17名、女性9名）女性議員の比率は、34.6%と恵庭市の33.3%と比べ高く、年代別にも20代～50代まで58%を占め、バランスの取れた組織となっている。議員一人の政務活動費、月5万円で年間60万円について恵まれていると率直に感じた。</p> <p>この度の視察に対して、池田議長に鎌倉市の現状につきましてお話を頂き、「まちのコインクルポについて」について、安富共生共創部企画課長、西澤さんに分かり安い資料を作成、説明頂き、御市のSDGsを推進する強い思いを感じる事ができ、心から感謝申し上げます。</p> <p><b>2 視察に当たったの教訓事項</b></p> <p><b>(1) 良かった点及び課題等</b></p> <p>① 平成30年6月、SDGs未来都市に選定され、安倍元内閣総理大臣から実証を受け「世界に誇れる持続可能なまち鎌倉」の創造に向けて意識の高さを感じられた。</p> <p>② 導入の経緯・目的は、令和3年1月市内のSDGs達成に向けた取組を通じて、それぞれの立場で身近な事から取り組んでもらう「きっかけ」づくり、活動を通じた人や店舗、地域との「つながり」づくり、そして、地域課題の解決や地域経済の活性化を目的としている。しかし、全国24の自治体や企業が導入しているが、利用者が14,413名で全体の8.3%と市民の普及率が課題と思われる。</p> <p><b>(2) 質疑に対する回答から見えた課題</b></p> <p>近隣自治体3市が同じ取組をしているが、連携について何うとそれぞれの通貨は相互に互換性が無く、クルポで貯めたコインを他の自治体のコインとして活用出来ないといった別地域との繋がりが創出出来ない課題もあった。</p> <p><b>3 本市に反映すべき事項</b></p> <p><b>(1) 手法は違ってもICT化・デジタル化は今後益々必要な分野である。</b></p> <p>① 市民ニーズに合った多くの市民に受け入れられるデジタル化が必要で有る。 現在、本市ではエニワッカアプリを運用しているが、市民ニーズに合ったもっと使い勝手の良いツールに改善すべきと思料する。</p> <p>② この様な地域デジタル通貨事業は、SDGsを推進している鎌倉市に合った事業であり、市民に受入れられている。やはり大事なものは、地域の特性・環境に合った事業の展開が必要で有る。</p> <p>③ SDGs達成に向けた取組として「きっかけ」づくり、活動を通じた人や店舗、地域の「つながり」づくりの面では評価でき、見習うべき点がある。</p>

視察研修先・神奈川県座間市
視察研修項目・GPSを使ったゴミ収集事業について
報告者・翡翠会幹事長 前田孝雄
<p><b>1 全般</b></p> <p>座間市の人口は、8月1日時点で132,083人であり、首都圏のベッドタウンの顔を持つ県央の中核都市である。GPSを使ったゴミ収集事業について視察をしたが、ゴミ収集システムについては、座間市が小田急電鉄と連携し、ルビコン・グローバル社の「WOOMS」というシステムを活用、剪定した枝や草を資源ゴミとして回収し、バイオマス発電用のチップの原材料として再利用する取組を行っている。</p> <p>また、資源物とゴミの分別収集カレンダーを公開し、市民の皆さんにゴミの分別と原料を呼び掛けている。座間市議会荻原健司議長には座間市の概要説明と最後まで同席頂き、小松田クリーンセンターシステム担当班長から丁寧な説明に心から感謝致します。</p> <p><b>2 視察に当たっての教訓事項</b></p> <p><b>(1) 良かった点 (実績)</b></p> <p>① WOOMSは、車両に搭載するAppを活用し、収集スタッフの着実な業務遂行と業務負荷の低減をサポートし、同時にappが取得したデジタルデータをリアルタイムに他の車両やポータルを使用する担当者と共有・活用が可能となることで、資源循環の拡充や市民サービス向上に繋げている事が素晴らしい。</p> <p>② 本格データを活用し車両の平均積載量を引き上げ、運搬回数を大幅に削減する事が可能となった。2021年度の実績は、車両の平均積載量+11.6%、運搬回数-16.3%、焼却処理量-6.7%と大きな成果を上げている。</p> <p><b>(2) 質疑に対する回答から見た成果</b></p> <p>① 持続可能な街づくり（市民サービスの向上・行政リソースの削減）</p> <p>収集車は、市内の道路をくまなく週に複数回通行、この特性を活かし、収集時に発見・確認した市内インフラ維持に関する情報（内容・位置情報・画像）等を車載システムから、自動又は簡易な操作でデータ化し、関係部門等メリットを享受可能な方に迅速に共有・対応する事で、市民サービスの向上や効率的なインフラチェックに繋げる事が可能</p> <p>② 災害時への活用（防災・早期復旧にむけて）台風接近時などの災害発生時に、収集車が市内の状況を危機管理担当にリアルタイムに共有、災害対策の検討が可能</p> <p><b>3 本市に反映すべき事項</b></p> <p><b>(1) 座間市が運用しているWOOMS appを本市へのゴミ行政に反映への検討</b></p> <p>① 収集自動検知、収集量管理、収集支援、インフラチェック、車両管理、市民公開等、本市に取り入れるべき点が多々有ると感じた。</p> <p>② 市民のゴミ収集料が無料で、市直轄事業であることに驚いた。市職員（年次雇用を含む。）62名で実施している事に御市のやる気と正に市民サービスの本流である。本市の指定管理者制度（PPP）偏重に一石を投じたい。</p> <p>③ 外国製アプリであるため、低コストで活用できアプリ改善のモニターの役割もあり、市に提供する事で業者の信頼性を向上させる等、相互にウイン・ウインの関係にあり、高く評価するところである。</p> <p>④ このGPSシステムも全てデジタル化（オート化）されていない使い勝手が悪い点も散見されたが、ゴミ収集業者の安全運行指導に資している事やゴミ収集経路上の不具合事項についての通報機能は、安全安心なまちづくりに極めて重要であると思慮する。</p>

## 報告書 3-1

視察研修先・神奈川県川崎市麻生区
視察研修項目・しんゆり芸術のまちづくりについて
報告者・石井美季
<p><b>* 議員個々の考察と見解 *</b></p> <p>川崎市は人口150万人を超える大きな政令指定都市です。工業地域の中心のイメージが強かったのですが、7つの行政区はそれぞれ特徴的で、今回訪れた麻生区は約18万人が暮らす、音楽や芸術などの文化振興に特に力を入れている地域です。川崎市の北西の端に位置しており、東京都町田市や稲城市、多摩市、横浜市青葉区などと隣接しています。東京都庁のある新宿駅から小田急線の快速急行で22分という点が、札幌から快速電車で23分の恵庭市のポジションに似ていないのでしょうか。最近、住民の平均寿命が沖縄を抜いて日本一になったことで話題になりました。</p> <p>小田急線のすべての電車が停車する要衝の新百合ヶ丘駅に降り立つと、南口側にはペDESTリアンデッキで広い遊歩道で、商業施設やスポーツクラブ、マンションなどへつながっており、徒歩で行きかう人でにぎわっていました。掲示板にはアートのイベントの情報のチラシがたくさん貼ってありました。すぐ近くに昭和音楽大学の南キャンパスも見えました。これは2階で、1階の方にはバスのりばやタクシーのりばがあり、自動車の通れる道路につながっています。どちらが1階か2階か地階なのかわからなくなるようなところがあり、ここの土地が丘陵で、そこそこのアップダウンがあることがわかります。北口側には、また目の前に昭和音楽大学の北キャンパスがあり、区役所や区民会館、病院などの施設もまとまってあるように見えました。日当たりのいい坂を下がって少し上ったところに川崎市アートセンターがありました。道中の交差点のそばにまた掲示板があり、前述のと同じアートイベントの情報が張り出されていました。アートセンターでは「しんゆり芸術のまちづくり」の歴史など説明を受けましたが、これには、恵庭市の「花のまちづくり」に通じるものがある、と思いながらお話を伺っていました。113席のミニシアターでは、近くにあるシネコンでは上映される機会の少ない名画の上映がされていました。アルテリオ小劇場は最大214席があるホールですが、その設備は、本格的な舞台に必要なものがすべてあり、専門知識のある人がしっかりかかわって作られていることがわかりました。ギャラリーの機能もある、本当の意味での多目的ホールであることに感銘を受けました。その後、すぐ近くに歩いて行けるトゥエンティワンホールも視察させていただきました。駅を中心とした歩いて行けると何でもあるコンパクトなまちは、住民が心と体の健康を維持して長寿につながるのだ、と納得できました。</p> <p>文化芸術の意識の醸成に力を入れていることが随所に現れているのがわかりましたが、特に、表現と鑑賞の両方に高い質を求めているところが素晴らしいと感じました。情報の発信についても、誰の目にも止まりやすい掲示板などのほか、さりげなく目的外の用事で歩く人に手にとってもらえるチラシの置き方、複数の情報アクセス方法をわかりやすくしている仕掛けなど、参考になる部分がたくさんありました。</p> <p>明日の恵庭市のまちづくりに役立つ有意義な研修となりました。</p>

## 報告書 3-2

視察研修先・神奈川県川崎市

視察研修項目・リサイクルの取り組みについて

報告者・石井美季

恵庭市が昨年12月21日に「地域資源循環共生圏推進に関する包括連携協定」を締結した株式会社JEPLANに伺いました。

「地上にあるものは地上で循環させる」という岩本会長のお話は大変楽しくわかりやすく、わくわくするものでした。これまで「ごみ」として扱ってきたものの多くがごみではなく、生まれ変わる前の資源であるという一貫した考えのもとで様々な事業を展開しています。ペットボトルがペットボトルに、洋服が洋服に再生できる、魔法のようなその仕掛けの裏側を学びました。消費者として、少しの工夫と、気に掛ける努力でどんどん進められます。

工場の見学もさせていただきました。ペットボトルからペットボトルの素をつくる行程には、これも地球の構成物なんだとわかる化学の方程式でできていることを学びました。

わたしたちがこれからすべきことは、ただのごみにならない材料を使ったものを利用すれば、ほぼすべてが再生可能だということを知り、リサイクルできるものを集めて、リサイクルできるところへ届ける努力をする、また、しやすい環境を整えることではないだろうか、と考えた研修でした。恵庭市民の多くの人にこのことを伝えたい、と思いました。



報告書 3 - 3

視察研修先・神奈川県鎌倉市
視察研修項目・地域デジタル通貨事業について
報告者・石井美季
<p>いわずと知れた、観光都市鎌倉市。この日も国内外からの大勢の観光客が街並みを楽しんでいる様子が見られました。平成30年に、SDG s 未来都市に選定され、「世界に誇れる持続可能なまち鎌倉」の創造に向けて、社会・経済・環境の3側面をつなぐ総合的に様々なステークホルダーを巻き込む取り組みが始まりました。神奈川県がその推進のために株式会社「カヤック」に委託して開発したスマートフォンアプリ「まちのコイン」を市で導入し「クルッポ」という通貨名で親しまれています。換金性はなく、市のSDG s つながりポイント事業として特化した利用です。コインをもらう体験、あげる体験はユーザーとしての利用のほかにそれらを作成することができるスポットとしての利用ができる特徴があり、鎌倉市役所内で行っているクルッポの体験の例は、転入してくれたら500ポイント、フードドライブに協力してくれたら200ポイント、マイボトルで給水スポットを利用したら50ポイントもらえる事業があり、過去には成人を迎えたら500ポイント、平和クイズに答えて100ポイント、8市連携プラごみ削減キャンペーン参加で1192ポイントもらえるなどがありました。まちなかでも買い物やリユース容器の返却でポイントがもらえる体験があり、使う・あげる体験は、「まちのもったいないマーケット」で食品と交換したり、お寺の住職に愚痴を聞いてもらうなどの鎌倉らしい体験があります。</p> <p>アイデア次第で、老若男女誰でもデジタルのコインのやり取りでできることの可能性がたくさん想像できます。</p>



### 報告書 3-4

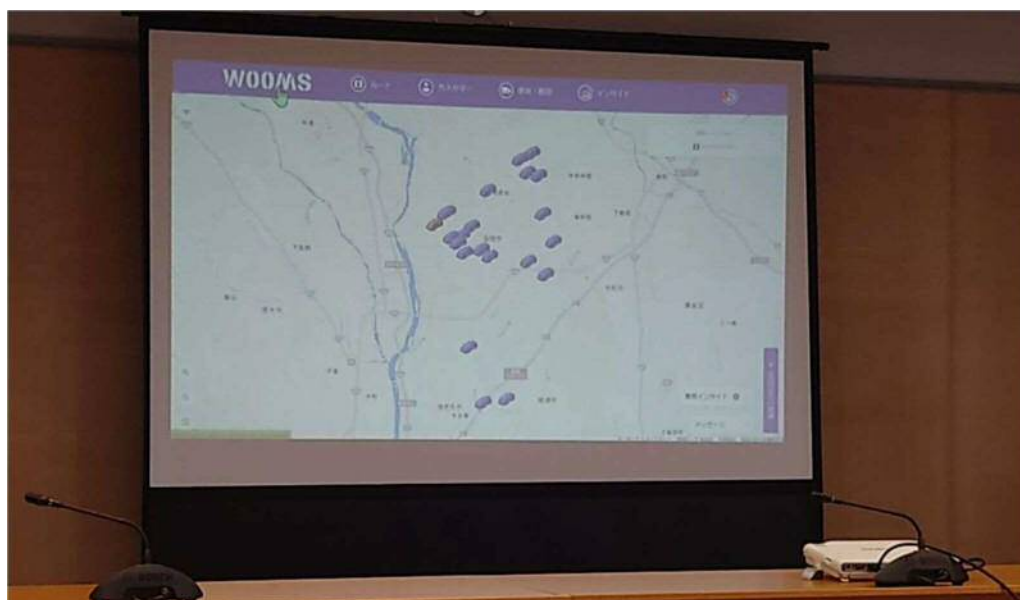
視察研修先・神奈川県座間市

視察研修項目・GPSを使ったごみ収集事業について

報告者・石井美季

神奈川県の内陸にある座間市は、キャンプ座間があるまちとしても知られています。座間市のごみ収集は市の直営となっており、市職員約60名がこの仕事を担っています。事業の効率化のために、導入したWOOMSという小田急電鉄のテクノロジーによるアプリを活用しています。管理画面で、収集車両の位置情報を把握、収集車両間の情報を確認することにより、収集量が多くて積みきれない車両の方に空いている車両が駆け付けたり、遅れている収集箇所に代わりの車両が出向いたり、より効率的にごみ収集ができるようになったということです。このアプリは、ごみ収集だけでなく、ごみの削減に資する好循環を地域とともに生み出し、都市農業の振興を目指すフードサイクルプロジェクトにも一役買っているようです。

新しい技術を導入し、どのように活用し、市民生活をよりよくしていくか、応用するアイデアと市民や民間事業者との連携など人のつながりで、可能性がどんどん広がる事業例であることを学びました。



報告書 3-1

視察研修先・神奈川県川崎市麻生区
視察研修項目・しんゆり・芸術のまちづくりについて
報告者・宮 利徳
<p>* 議員個々の考察と見解 *</p> <p><b>しんゆり・芸術のまちづくりについて</b></p> <p>● 芸術のまちづくりが始まった背景、経過</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 1979年～ 市民館建設運動 映画監督や作家などが麻生区に移住し市民運動を展開</li><li>・ 日本映画大学、昭和音楽大学が麻生区に移転（映画のまち川崎、音楽のまち川崎）</li><li>・ 芸術のまち構想 行政ではなく市民主導で開始</li><li>・ 黒川地区に芸術団体が集結（読売日本交響楽団、日本オペラ振興会、劇団民藝）</li><li>・ 2009年「NPO法人しんゆり・芸術のまちづくり」発足 財源は区から区民との対応事業補助金、委託金</li></ul> <p>● 芸術のまちづくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 事業を継続させるために、ボランティアが活躍、行政との連携を密に</li><li>・ 700を超える様々な活動団体 直接的な補助金はないが、交流館を安価に利用</li><li>・ NPOであることで収益を重視していないことで市民からの理解が深い</li><li>・ 芸術を身近に感じられ、小中学校においても芸術活動が盛んに行われている</li><li>・ これらの活動を通して区民にも芸術のまちづくりが徐々に浸透</li><li>・ 課題として地域ブランドをどう浸透させるか、次の世代に繋ぐための施策などがある</li></ul> <p>● 川崎市アートセンターについて H19.10.31にオープン</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 指定管理者 川崎市文化財団グループ 指定管理料 165百万 (川崎市文化財団、昭和音楽大学グループ、日本映画大学で構成)</li></ul> <p><b>【施設】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ アルテリオ小劇場（最大214席） 舞台芸術の発信、担い手の育成、鑑賞機会の提供をコンセプトに事業を展開</li><li>・ アルテリオ映画館（113席）料金：一般 1,800円～高校生以下 800円(各種割引制度) 月曜日を除きほぼ毎日上映。商業映画館では公開しにくい名画、秀作を選定し上映</li></ul> <p><b>【事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 夏休みワークショップなど数多くのワークショップを実施</li><li>・ 特定事業 ①KAWASAKI しんゆり映画祭 ※資料1 ②川崎・しんゆり芸術祭（アルテリッカしんゆり）※資料2</li><li>・ 立ち上げに関しては行政と区民が2年ほどに渡って深い議論があった</li><li>・ 作る人だけではなく、見る人、支える人（裏方など）にメニューを提供することが次の世代に繋ぐためには重要である</li></ul> <p>● その他の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ しんゆりアートナビ 麻生区にゆかりのあるアーティストの検索サイト ※資料3</li></ul>





2022 KAWASAKI しんゆり映画祭

10月30日 11時30分-6時

川崎市アートセンター

10月上旬 前売り券、セブンチケットで販売!!

【全席指定】上映作品、スケジュールや作品情報はこちらのホームページでご確認ください。

お問い合わせ先: NPO法人 KAWASAKI アーツ 連絡先事務局  
TEL 044-959-7662 (平日09:00-17:00) FAX 044-959-7665

〒210-0845 川崎市青区下野原1-1-11 1F 川崎市アートセンター  
〒210-0845 川崎市青区下野原1-1-11 1F 川崎市アートセンター

KAWASAKI しんゆり映画祭 2022 上映作品続々決定!

様々なジャンルで制作された新作、往年の名作も上映予定です。  
上映スケジュールや作品詳細、気になるコメンタリー  
映画祭ホームページでご確認ください。

長くつ下のピッコ  
も上映予定!

- ハケンアニメ!
- 犬部!
- ブユクサ
- ミラクルシティコザ
- しんゆり  
こどもシアター
- 伊勢る小学校
- 未知への飛行 ほか

映画と人とまちをつなぐ  
KAWASAKI しんゆり映画祭へ  
皆さまのご支援をお願いします!!

KAWASAKI しんゆり映画祭は、「映画とともに、まちとともに」をテーマに掲げ、映画を鑑賞する一人一人、観る人それぞれの心がけを大切にしながら、芸術文化のまちの発展を目指して活動しています。  
本映画祭の事業・運営を支えてくださる方、皆さまのさまざまなご支援が必要です。  
ご賛助の厚がに報えます。大切に支援いただけるよう、インターネットにオンラインチケットを販売いたします。  
この場からのご賛助、皆さまの応援が事業に支えられています。活動の励みとして使わせていただきます。皆さまからの温かいご支援もお待ちしております。

ジュニア映画制作ワークショップ 2022!  
「アイデアを映画にしてみんなでストップモーションアニメーションをつくろう!」

開催日 2022年 12月4日(日) 12月11日(日) 12月18日(日)

2022年 1月(日) 5月(月-祝) 9月(土-日) 全6回予定

参加対象 小学生 中学生 高校生

参加費 200円(当日の場外会場参加費は別途) | 抽選

申込先 事務局 | 申込先 TEL: https://www.npo-art.jp/ | 申込先 FAX: 044-959-7665

講師 藤村 夏希子 さん (Director/Animator/人形師 藤村夏希子) 講師(絵師) 藤村 夏希子 さん (Director/Animator/人形師 藤村夏希子)  
講師(アーティスト) 藤村 夏希子 さん (Director/Animator/人形師 藤村夏希子)  
講師(アーティスト) 藤村 夏希子 さん (Director/Animator/人形師 藤村夏希子)

新型コロナウイルス感染症防止の取り組み

本映画祭は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、検閲・検閲(無検閲)、川崎市アートセンターの感染防止対策が実施されています。詳しくはこちらのホームページをご覧ください。

第28回 KAWASAKI しんゆり映画祭 2022

資料1



主要委員会

川崎-しんゆり芸術祭  
アルティマガん2023

2023.6.15 (日) - 6.18 (月)

〒210-0845 川崎市青区下野原1-1-11 1F 川崎市アートセンター  
www.artnavi.jp

川崎-しんゆり芸術祭  
アルティマガん2023

2023.6.15 (日) - 6.18 (月)

〒210-0845 川崎市青区下野原1-1-11 1F 川崎市アートセンター  
www.artnavi.jp

資料2



演奏家やパフォーマーをさがしたい! というあなたへ

しんゆりアートナビでは、麻生区を中心に活動しているアーティストを紹介しています。ミュージシャン、ダンスグループ、パフォーマーなど、活動ジャンルはさまざま。イベントなどでアーティストをお探しの方はぜひご利用ください。

ご利用は... イベントでパフォーマンスを体験できる方を探したい

アーティスト検索について

- 活動ジャンルで探す「カテゴリ検索」、プロフィールの内容からキーワードで探す「キーワード検索」で絞り込み検索できます。
- 気になるアーティストを見つけたら、アーティスト紹介ページの「このアーティストへ問い合わせる」ボタンから直接アーティストへお問い合わせいただけます。

詳細は https://shinyuri-artnavi.com/

「しんゆりアートナビ」とは  
同様に麻生区内に活動しているアーティストと地域のみなさまをつなぐためのアーティスト検索サービスです。ミュージシャンはもちろん、ダンサーやパフォーマーまで様々なアーティスト及び活動を検索できます。芸術活動したいアーティストと一緒に活動してみたいアーティストなど、多種な検索が可能。ぜひ、あなたの気になるアーティストを見つけてください!

スタートアップ! イベントにぜひ、活用してください!

お問い合わせ先: NPO法人しんゆり芸術祭のまちづくり事務局  
TEL 044-959-1020 (平日09:00-17:00) Email: shinyuri@npo-art.jp



地域のイベントに出演したい! 活動を広げたい! アーティストの方へ!

あなたの活動を「しんゆりアートナビ」でPRしませんか? 麻生区にゆかりのあるアーティストであればどなたでも無料で登録できます。地域での活動をもっと広げたいアーティストの方はぜひご登録ください。

登録情報について

- 登録フォームにて簡単にオンライン申請。
- 登録アーティストは、トップページのアーティスト一覧に掲載されます。
- アーティスト一覧には、アーティスト名・写真・0とことPRコメントが表示されます。
- 0とことPRコメントは、0とこと自己紹介のほかにもイベント出演案内など定期的に内容を更新してうまく活用しましょう。

お問い合わせ先: NPO法人しんゆり芸術祭のまちづくり事務局  
TEL 044-959-1020 (平日09:00-17:00) Email: shinyuri@npo-art.jp

資料3

報告書 3-2

視察研修先・神奈川県川崎市川崎区 ペットリファインテクノロジー(株)
視察研修項目・地域資源循環社会の推進について
報告者・宮 利徳
<p>* 議員個々の考察と見解 *</p> <p>(株)JEPLANは昨年12月に恵庭市と「地域資源循環共生圏推進に関する包括連携協定」を締結した。JEPLANのグループ会社でPET樹脂プラント工場のあるペットリファインテクノロジー(株)にて研修を行った。</p> <p><b>【研修内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・(株)JEPLANの岩元美智彦会長による事業説明</li><li>・川崎工場の施設見学</li></ul> <p><b>【JEPLANの取り組み】</b></p> <p>昨年12月、本市と包括連携協定を締結した(株)JEPLANは、独自のケミカルリサイクル技術により、1のボトルから1のボトルを作ることと可能とし（従来のペットボトルへのリサイクル率は約20%）、それによりペットボトルは地上資源となり、新たな地下資源（原油等）を必要とせずともペットボトルを何度でも製造できるようになった。</p> <p>この技術の確立により岩元会長が創業当時から提唱している「経済と環境と平和が並立する持続可能な循環型社会の形成」が現実のものとなり、世界中のあらゆる企業がこの理念や取り組みに賛同し、連携を図っている。本市においてもゼロカーボンシティを目指し、包括連携協定を締結し、現在恵庭市リサイクルセンターに回収されたペットボトルは同工場へ搬入し、新たなペットボトルへとリサイクルされている。</p> <p><b>【リサイクルの特徴、考え方】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・循環型社会はみんなが中心、みんなが感じられる、みんなが参加できるように</li><li>・リサイクルの目標は「水平リサイクル」＋「1対1」＋「半永久的」である</li><li>・ケミカルリサイクル＝物質を分子単位（H、C、O等）で考え、一度分解し再結合</li><li>・リサイクルを文化にするにはみんなが楽しみながら参加できる必要がある</li><li>・地下資源の奪い合いから脱却することで世界平和につながっていく</li></ul> <p><b>【所見】</b></p> <p>岩元会長の理念や考え方、それに伴うJEPLANの技術や取り組みに感銘を受けた。この取り組みが更に多くの地域で広がっていく一助となるべく、恵庭市において更なる周知啓発や特に子ども達が楽しみながら参加できる具体的な取り組みを推進していく必要性を感じた。</p>

視察研修先・神奈川県鎌倉市
視察研修項目・地域デジタル通貨事業について
報告者・宮 利徳
<p>* 議員個々の考察と見解 *</p> <p><b>まちのコイン「クルッポ」について</b></p> <p>鎌倉市 平成30年6月 SDGs未来都市に選定「世界に誇れる持続可能なまち鎌倉」の創造</p> <p>● まちのコインについて</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・神奈川県がSDGs達成に向けた取り組みの推進のために開発したスマホ向けアプリ 全国24の自治体や企業で導入</li><li>・カヤックが作成したアプリで市独自の通貨にするために費用がかかる</li></ul> <p>● 導入の経緯と目的</p> <p>導入は令和3年1月。目的は市内のSDGs達成に向けた取り組みを通じて身近な行動変容のきっかけを作ること。活動を通じた地域のつながりづくり、地域課題の解決や地域経済の活性化などを図る。</p> <p>● クルッポについて</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・まちのコインの中で鎌倉市で使用できる通貨を「クルッポ」とした。 小田原市「おだちん」、厚木市「アユモ」、相模原市「すもー」という名称</li><li>・基本的な対象者は鎌倉市民。利用者、ユーザー数は14,413人</li><li>・導入に500万円、令和5年度予算は200万円</li></ul> <p>● 利用方法について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・コインを「あげる体験」と「もらう体験」がある</li><li>・ユーザーと体験を通じてコインを取得、利用し、スポットは体験を作成できる</li><li>・獲得したポイントで期限が近くなった食品などと交換することでSDGsの取り組みとなる。獲得したポイントの有効期限は80日間とすることで、循環を活性化する</li></ul> <p>● クルッポアワードの開催</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・年に1回、体験の利用数が最も多かったユーザー、体験の利用数が最も多かったスポット、SDGsに最も貢献したスポットを表彰</li></ul> <p><b>【所見】</b></p> <p>視察前は地域経済の活性化が主な目的だと考えていたが、ポイントの換金制はなく、主な目的はSDGsの推進であった。恵庭市においては今後、公式アプリえにわかでのポイント事業が実施される予定であり、鎌倉市での取り組みはこのポイントの活用方法や課題を考える上で非常に参考となった。多くの市民が参加できるアプリポイント事業となるように今回の研修を活かしていきたいと考える。</p>

視察研修先・神奈川県座間市
視察研修項目・GPSを活用したごみ収集システム（WOOMS）について
報告者・宮 利徳
<p>* 議員個々の考察と見解 *</p> <p><b>GPSを活用したごみ収集システム「WOOMS」について</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ R元年度から小田急電鉄と実証実験、R2年度から本格実施</li><li>・ 導入前より平均積載率 1.1%、搬入回数16%（1800回／年）削減</li><li>・ 効率化によって生まれた余剰（時間・人）で剪定枝の回収を開始。それまで燃えるゴミとしていた剪定枝を別途回収することで資源物として扱い、結果ゴミの減量につながる。</li><li>・ 剪定枝がある場所はゴミ収集時にタブレットの通報システムで報告、専用班が回収</li><li>・ 収集箇所がリアルタイムで表示されるため、余裕がある車が支援することができる。</li><li>・ 収集ルートは短時間で振り分けられるため、当日の人員変更などにも対応</li><li>・ 通報システムを活用し、ごみ収集と同時にインフラチェックも行うことができる。（道路や標識の破損状況や河川の水量などをチェック・報告）</li></ul> <p><b>【座間市の状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ ゴミ無料、ごみ収集業務は市直営で市の職員が行なっている</li><li>・ システム導入による効率化で市の経費が削減される</li><li>・ 初期の導入費用 無料（モニター契約） その後は7年契約の賃貸借契約 月110万円</li><li>・ パッカー車26台、職員64人（再任用、会計年度任用職員含む）</li><li>・ 降雨時の川の水量をチェックし防災に活用</li></ul> <p><b>【所見】</b></p> <p>恵庭市と座間市においてはゴミの収集方法や実施者に違いがあり、このシステムが本市のごみ収集事業に有効に活用できるかは現在のところ不明である。しかし、システムを提供する小田急電鉄は、北海道・東北などでの除雪への活用を模索しており、ごみ収集と除雪の両面で今後本市が抱える課題を確認し、このシステムの活用について検討していきたい。</p>

報告書 3 - 1

視察研修先・神奈川県川崎市麻生区
視察研修項目・しんゆり芸術のまちづくりについて
報告者・早坂 政芳
<p>新百合ヶ丘の川崎市アートセンターに着くと、市民文化局市民文化振興室の山本陽子課長、NPO法人しんゆり・芸術のまちづくり白井勇理事長等から丁寧に説明をいただきました。平成19年10月に文化振興の拠点としてオープンし、地域に芸術・文化関係者が居住し、市民による文化芸術活動が活発におこなわれており、さらに活力のある町として発展させることを基本理念としているとのことでした。市民サークルも活発でそのためか、平均寿命も全国一とのことでした。また様々なイベントが開催されており、地域の人々や観光客が交流を深める機会も提供しています。</p> <p>恵庭市でも音楽の演奏会、歌謡ショー、よさこいチームの演舞、社交ダンス等のサークル活動、市の文化祭における文化・芸術活動の発表会等が実施されており、人生の活性化、人との交流の促進等に貢献しております。今後更に市の文化・芸術活動を充実させてゆくために、会場の整備、文化庁との連携等、参考にさせてもらう事がたくさんありました。</p>

## 報告書 3-2

視察研修先・神奈川県川崎市
視察研修項目・ペトリファインテクノロジーについて
報告者・早坂 政芳
<p>恵庭市からもペットボトル等を回収して、新しくペットボトル等を作るという夢のような事業を実施しているJEPLAN株式会社に到着すると、取締役の岩元美智彦氏、営業部の松沢健介氏から丁寧な説明を頂きました。</p> <p>先日の東京オリンピックの時のメダル、選手のユニフォームも作ったとの話やその技術が世界的に注目されて評価されている状況に驚きました。ペットボトル等を加熱して、気化してから再び加工できる素材をつくるという4階建ての工場も見学させて頂き、さすがに4階まで外階段で登るのは足もすくみ、その後は太股の筋肉がしばらく凝ってしまって、日頃の運動不足を痛感しました。</p> <p>廃棄物を有用な資源に変える資源循環と社会への意識啓発活動により地球的に活動している日本として誇らしい企業として感銘を受けました。また恵庭市民にこの事業を広報することにより、更に使用後のペットボトル等の回収に協力してもらえと思いました。</p>

報告書 3-3

視察研修先・神奈川県鎌倉市
視察研修項目・町のコイン「クルッポ」について
報告者・早坂 政芳
<p>歴史的遺産を持つ古都鎌倉市役所に到着すると、市議会議長の池田実氏、企画課の職員 の安富氏、西澤氏が町のコインとされているクルッポについて説明してもらいました。</p> <p>株式会社カヤックで作成されたスマートフォンアプリで、いうならばボランティアのポ イントで、人、店舗、地域との「つながり」づくりを目的としているものとのこと。</p> <p>住職があなたの愚痴を聞いてあげてポイントを貰う。江ノ電に乗ってくれたら、渋滞緩 和、CO2 削減に協力してくれてポイントを貰う、成人したら、ゴミ削減キャンペーンに 参加してくれたらといろいろな種類で地域とのつながりを増やしていくとの一種のゲー ム感覚で町をつなぐを深めてゆく施策に驚きと恵庭にも実施できれば面白いと思いま した。現在、恵庭市で活用している「えにわか」の充実向上にも寄与できるものと思いま しました。</p>

報告書 3 - 4

視察研修先・神奈川県座間市
視察研修項目・GPSを使ったゴミ収集事業について
報告者・早坂 政芳
<p>立派な大理石の玄関を持つ座間市役所において、議会議長の荻原健司氏、暮らし安全部の小松田裕氏から、市のGPSを使ったゴミ収集事業について説明を受けました。</p> <p>小田急電鉄との共同でGPSを使ったゴミ収集のシステムを作って、車両28台、人員64名の効率的な運用が可能です。GPSを搭載した車両が、予め設定した経路に沿って自動的に進行することができます。コストと時間の削減に大いに貢献しています。</p> <p>またゴミ収集車の位置情報をリアルタイムで把握できるため、トラブルが発生したときも素早く対応することができます。</p> <p>恵庭市においても冬季の除雪車の運用に使えるシステムだと思いますが、そのシステムの構築に手間と費用がかかりそうで小田急電鉄のように共同で作成してくれる一般企業が見つかればいいと思ったところでした。</p>



## 報告書 3-1

視察研修先・神奈川県川崎市麻生区
視察研修項目・しんゆり芸術の街づくり事業について
報告者・吉永孝之
<p>目的</p> <p>誰もが芸術・文化を身近に感じるまちづくりをすることにより 豊かな人間性を涵養し共感し合う心を通じて意思が通い、一方で経済的な効果も期待できると感じた。そして恵庭市でも更に活発になるよう、その取り組みについて視察した。</p> <p>視察先の概要</p> <p>麻生区の芸術関係資源や人材などの地域資源を活かして、事業者、教育機関、市民、行政等が連携することにより、「芸術・文化のまち麻生」を目指してジャンルとしては、音楽、バレエ・オペラ、舞台・演劇、古典芸能、映画・映像、アート、落語・講談等の多岐に渡っていた。</p> <p>視察内容</p> <p>しんゆり芸術の街づくりの歴史のレクチャー後、背景について学んだ。芸術家や文化関係者が多く住んでいて、芸術・文化関係の施設が集積された場所である。また、日本映画大学や昭和音楽大があるため若手の人材にも恵まれた環境であることが分かった。住民も首都圏の新興住宅地として発展して来て、進取の意識が高いことも伺えた。</p> <p>施設見学</p> <p>アートセンターを見学し、劇場、映画館、アート展示ブース、PR用のブースが設けられている。バリアフリーも徹底しており弱者に優しい構造になっていた。</p> <p>所見</p> <p>各種団体の講演等のリーフレットが整備されていて、気軽に芸術を楽しめる仕組み作りがされていた。川崎市の様々な取組みは、いろいろな学びがあり、今後進めていくに当たって大変参考になった。ただ、人口、予算規模、環境に大きな隔りがあるため少しでも近づけるよう努力していきます。結びに視察をお受けしていただき丁寧なご対応をいただいたことに心より感謝を申し上げます。</p>

## 報告書 3-2

視察研修先・神奈川県川崎市
視察研修項目・ペットボトルのリサイクル事業について
報告者・吉永孝之
<p>目的</p> <p>恵庭市のペットボトルを処理していただいている J E P L A N を見学し、最終的にどのように再生されているかを研修してゼロカーボンシティの推進を図る。</p> <p>視察先の概要</p> <p>JEPLAN社は、資源の循環の推進や消費行動変容の機運醸成など、地域環境保全と地域経済・社会活性化の両立に取り組み、使用済ペットボトルのボトルtoボトルのリサイクル推進や市民への環境教育や啓発活動等の連携を進めている。</p> <p>将来が有望な世界が注目するすごい企業である。</p> <p>視察内容</p> <p>ケミカルリサイクルとは、廃プラスチックをさまざまな手法で科学的に分解し、製品の原料などに再利用するリサイクル方であることを学んだ。</p> <p>このテクノロジーを使用してペットボトルだけでなく、衣料品のリサイクル、おもちゃのリサイクルと幅を広げている。</p> <p>石油から石油由来の原料を作り、様々な製品に加工され、製品利用後、石油由来原料に戻るといふ、資源を節約できる方法である。これにより世界規模でサーキュラーエコノミー（循環型経済）の実現を目指している。ケミカルリサイクル技術を取り入れた商用プラントで稼働しているのは世界で1つだけで、生産能力は年間2万2000トンとのことである。</p> <p>施設見学</p> <p>原料搬入施設、解重合施設、製品貯蔵施設</p> <p>所見</p> <p>ペットボトルをゴミのカテゴリーから資源というカテゴリーに移行させた画期的な会社であった。恵庭市は、すでに包括提携協定を実施している。</p> <p>原料から生成された素材から製品を回収して分解することによって、再度原料に置き換える発想を実現出来ていることが素晴らしく、感動を覚えた。</p> <p>今後は、市民に更に PR 活動を実施してリサイクルが環境改善に大きく役立つことを訴えていきたい。</p>

## 報告書 3-3

視察研修先・神奈川県鎌倉市
視察研修項目・地域デジタル通貨事業について
報告者・吉永孝之
<p>目的</p> <p>地域デジタル通貨を研修することにより恵庭市での補助金、地域券等に利用できるかを確認する。</p> <p>視察先の概要</p> <p>鎌倉市は、神奈川県にある歴史的な街であり、多くの観光客が訪れる場所である。鎌倉市の共生共創部は、市民と行政が協力して地域の課題を解決するための取り組みを行っている。デジタル戦略課が含まれており、デジタルトランスフォーメーションを推進することで、市民サービスの向上や行政の効率化を目指している。また、鎌倉市スマートシティ特設サイトでは、スマートシティに関連する情報を提供している。</p> <p>視察内容</p> <p>概要説明</p> <p>コミュニティー通貨「クルッポ」について説明を受けた。ボランティア活動等の市民活動をSDGsの一環であるまちのもったいないをマーケットを通じ、住民や店舗、企業などがポイントでつながり社会的課題解決を目指すツールである。2019年9月に誕生し、現在は、他の地域に広がっているが他の市と相互の連携は、していないとのことである。</p> <p>利用するには、スマホにアプリ「まちのコイン」をインストールし、店舗やスポット、イベントなどで用意するQRコードを読み込み、コインをもらったりあげたりして楽しむ、カフェにマイボトルを持参してコインをもらったり、貯まったコインで規格外の野菜や期限間近の食品を手に入れたりできるが、現金とは交換しない仕組みである。</p> <p>所見</p> <p>情報収集段階では、地域商品券の配布に利用することによって、人件費、事務費の削減に有効だと考えていたが、これとは、別の発想でのシステムであることが分かった。消費期限、賞味期限が近く従来廃棄されていたものを利用して社会貢献したご褒美として活用するというビジネスモデルである。</p> <p>SDGsの観点から非常に有用なものと考えます。ただし観光地でありかつ人口の多い鎌倉市のシステムをそのまま本市に適用できるかは、いまして少し情報収集が必要だと感じました。</p>

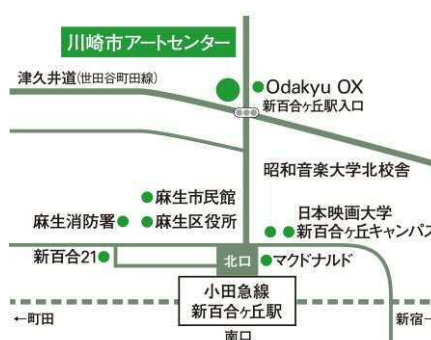
視察研修先・神奈川県座間市
視察研修項目・WOOMS を利用した廃棄物収集業務効率化事業について
報告者・吉永孝之
<p>目的</p> <p>WOOMSは、小田急電鉄が提供するウェイトマネジメント事業であり、自治体や廃棄物排出・収集事業者を対象に、廃棄物収集業務を効率化し、そこから生まれたリソースをごみとして排出することなく、資源化することを目的としている。</p> <p>これを恵庭市に応用できないか、また、冬季の除雪車両の効率的な応用可能かを確認するため研修を実施することとした。</p> <p>視察先の概要</p> <p>2020年8月からWOOMSを活用し22台のパッカー車すべてにタブレットを搭載し、各種測定を継続して、ゴミ収集業務の持続的な収集効率の向上につなげており、市民サービスの充実に寄与している。ゴミの収集はステーションで集中回収であり、作業者は、自前の市職員が実施している。</p> <p>視察内容</p> <p>導入までのロードマップ</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 車両数、職員数、業務フローなどの基礎情報だけではなく、収集担当・管理者が抱える課題を複数回にわたって検証したのちに、段階的に導入台数を増やすことで職員へシステムを浸透させルートを広げていったとのことであった。</li> <li>2. 試験運用を経たのちに全収集品目への導入へと拡大していき現在は、余剰時間を廃棄物に関する住民サービスの拡充に使用している。</li> </ol> <p>所見</p> <p>従来の経験、勘に頼っていた業務をデータ化することによってベテランしかできなかった業務を比較的経験の浅い職員でも見える化によって作業が可能になっている。</p> <p>データの蓄積によって新ルートの選定、パッカー車の積載重量増加で効率がアップすることにより作業の軽減と同時に、以前は実施していなかった庭木の剪定枝の回収業務を追加することによって住民サービスの向上が図られている。</p> <p>収集のパッカー車にテレビカメラとGPS位置情報からの「インフラ管理」機能を応用し市内気象状況のモニタリング及び道路等に不具合が生じた場合の通報機能を強化している。</p> <p>恵庭市としてもゴミの収集、除雪、道路管理等に応用できる可能性が高いと判断し今後とも情報を収集していく必要があると感じた。</p>

視察研修先・神奈川県川崎市麻生区
視察研修項目・しんゆり・芸術のまちづくり事業について
報告者・矢野浩章

【川崎市の概要】

○神奈川県北東部に位置し横浜市と東京都に挟まれた細長い地形で、川崎区・幸区・中原区・高津区・宮前区・多摩区・麻生区と7つの区があり。人口は約154万人と多い。平均年齢が43.7歳と全国平均より若く、産業が盛んで安全・安心なまちとしての統計が見られる。視察地の麻生（あさお）区は長寿日本一の街としての側面もある。

○川崎アートセンターは「しんゆり・芸術のまち」に新しい文化振興の拠点として平成19年10月31日にオープンし「新百合ヶ丘」駅周辺には、多くの芸術・文化関係者が居住し、昭和音楽大学、日本映画大学などの文化芸術機関も隣接しており「KAWASAKIしんゆり映画祭」や「麻生音楽祭」など、市民による文化芸術活動が非常に活発に行われている。



◆視察の目的

芸術のまちづくりとしての活動を恵庭市の街づくりの参考にする

【考察と見解】

芸術のまちづくりと聞いて訪れた地は恵庭市で生まれ育った私の考えとは違ったコンパクトな街と地の利を生かした芸術への意識の高い文化の香りがする街であった。恵庭では花の街としての景観や事業を主体としているが、麻生区では大学や比較的高所得の居住者が多くいる環境もあるらしい。小田急線新百合ヶ丘駅からおしゃれな駅前通りを抜けると川崎市アートセンターがあり、シアターや劇場などが効率よく整備され、利用する市民が積極的に芸術に関わる環境がある。これは民間だけの力では整わない、行政としての投資の結果であろう。2009年のふるさと雇用再生特別金を活用しての活動がキッカケでもあるとお聞きした。

担当者からの話を聞いて、芸術のまちづくりを恵庭に取り入れるには地域性の違いを感じるころではあるが‘花のまち恵庭’としての実績はこれから‘芸術のまち恵庭’に向けての参考になる多くの見本となった。

視察研修先・神奈川県川崎市

視察研修項目・(株)JEPLAN のリサイクルについて

報告者・矢野浩章

◆視察の目的

恵庭市で導入したPETボトルリサイクル施設の視察

【考察と見解】


恵庭市では一昨年より(株)JEPLANと「地域循環共生圏」の推進に寄与することを目的として連携協定を結んでいる。JEPLANではペットボトルのリサイクルは通常、ペットボトルから再資源化出来るのは85.8%だが、ここで再資源化したペットボトルは100%ペットボトルに生まれ変わるリサイクルを行っている。こうしたことで半永久的に資源循環が可能となり従来のペットボトル製造と比較して47%ものCO<sub>2</sub>削減効果があると言う。


現状のリサイクル工程の視察見学との思いだったが、ここで視察対応をしていただいたのは(株)JEPLAN取締役執行役員会長・岩元美智彦氏でJEPLANのトップだ。世界中の企業が提携を求める「希望の星」と言われている会社の創設者が直接視察の説明に対応していただいたのは、恵庭市が迅速にリサイクルに関心を持ち対応し協定を結んだ事に対してのお礼だという。

岩本氏の説明は解りやすくそして人を惹きつける熱い思いの方であった。是非、機会があれば恵庭市で市民に向けてのお話をする場があればリサイクルに対しての未来が希望のある内容だということが伝わるのではと思う。岩本氏の説明の後は担当者によりプラントの案内をいただきリサイクルの最前線の現場を肌で感じる事が出来た。



←リサイクルのマークとして使われている  
このデザインは恵庭市でも多くの市民に  
知ってもらいたい

<p>視察研修先・神奈川県鎌倉市</p>
<p>視察研修項目・地域デジタル通貨事業について</p>
<p>報告者・矢野浩章</p>
<p><b>【鎌倉市の概要】</b></p> <p>○鎌倉市は神奈川県南東部三浦半島の基部に位置している。また、東京都の中心部から約50kmの圏域にあって、横浜市、逗子市、藤沢市に隣接する。横須賀線や江ノ電が開通したことなどから観光地・保養地として多くの文人・文士が移り住むとともに、観光地としても有名で、丘陵地や海などの豊かな自然環境や、日本を代表する古都の歴史的風土、旧市街地と新市街地の二極構造などの独特な都市構造などとともに、海浜レクリエーション、良質な居住環境など多面的な性格を有する都市として位置づけられている。人口は約17万人だが、年間延べ約2,000万人もの観光客を受け入れている全国有数の観光地でもある。</p> <p><b>◆視察の目的</b>                  地域デジタル通貨導入について                  開発企業：面白法人カヤックHP→</p>  <p><b>【考察と見解】</b></p> <p>デジタル通貨と聞くと、通貨＝お金とんでいた。商品を買ったり売ったりを基本とする事が前提の通貨として考えていたが、鎌倉市の地で出会ったデジタル通貨は通貨としての機能よりポイントのやり取りを通貨として扱っている印象だ。                  (確かにHPではデジタルコミュニティ通貨アプリとして表記してあった)</p> <p>このデジタル通貨は「クルッポ」と名付けられ鎌倉市でのみで流通している。例えば、海でゴミ拾いに参加すると+300クルッポを貰えたり、エコバック持参で買い物したら+50クルッポ、環境の為に自家用車を使わずに電車を利用したら+50クルッポとSDGsも考えている。利用者は約14,000人が登録し利用している。</p> <p>では貯めたクルッポはどの様にして使うのだろうか？些細なお困りごとを解決したり、お悩みの相談先になったり、SDGsやまちを盛り上げる活動のお手伝いに参加したりする事に使用することも出来るらしいが、貯める事より使用する事に対する利用方法は若干課題だそう。貯めた通貨のランキング表彰をすることで利用促進するなど、色々と考えた取り組みも組み込まれている。</p> <p>当初の地域デジタル通貨としての恵庭市での運用としての考えは視察後に根本的に変わってしまったが、全国23地域で導入されている意味が直接視察したことではっきり解ったことである。まだまだ課題も多いようだが、市内コミュニティを求める地域通貨としての役割は確かに大きく、市民の行動理由に繋げる意味もあり、今後の参考になると思う、恵庭にもこの地域通貨は適用すると思った。</p>

視察研修先・神奈川県座間市
視察研修項目・GPS を使ったゴミ収集事業について
報告者・矢野浩章
<p><b>【座間市の概要】</b></p> <p>○座間市は神奈川県ほぼ中央に位置し、人口は13 万人で、人口においては県下でも比較的高い水準で増加しており、隣接する相模原市、大和市などと同様のベッドタウンとして現在に至っている。在日米軍のキャンプ座間と敷地内の一部に陸上自衛隊の座間駐屯地もある。</p> <p><b>◆視察の目的</b></p> <p>GPS を使ったゴミ収集を参考に効率的な除雪経路作業への転用を考える</p> <p><b>【考察と見解】</b></p> <p>GPS を使ったゴミ収集事業についての視察項目という観点と、項目とは違った観点でこのシステムを北海道の地で冬場の効率的な除雪作業に活用出来ないかという思いも含めての視察であった。冒頭の説明では座間市でのゴミ収集とシステムの説明を頂いた。鉄道会社の小田急電鉄が開発したシステム（WOOMS）である。</p> <p>何よりも座間市でのゴミ収集が市直営で実施し市民のゴミ処理の費用は無料で行われており、市の財政とゴミ処理の考えの違いに驚いたところである。また、作業員はゴミ収集作業中に街の中の不具合や気づいた点など、端末を使い写真を撮って報告するなど、ゴミ収集だけにとらわれない作業もこなしている。このシステムはGPSを使うことで作業の効率化を図ると共に様々な応用が可能で、実際の現場での使用に関しては良好のようだ。</p> <p>一番重要なこのシステムが、北海道の除雪作業効率化にどれだけ生かせるかは期待していたものとは違うようだが、開発企業のノウハウやGPSの今後の向上によっては近い将来除雪作業に適したシステムに転用されるシステムが開発されることを願いたい。</p> <p style="text-align: center;">小田急電鉄 WOOMS の HP→</p> <div style="text-align: right;"></div>



報告書 3 - 1

視察研修先・神奈川県川崎市麻生区
視察研修項目・しんゆり・芸術のまちづくり事業について
報告者・三上 まどか
<p>* 議員個々の考察と見解 *</p> <p>1999年に実行委員会が立ち上がり、現在700以上の市民活動団体と協働の文化芸術のまちづくりを展開しているスケールの大きな事業。</p> <p>文科省の補助金も予算に組み込まれていた背景には、人口が増え続けていることや、これからの新たなまちづくりに可能性があるという2点が大きかったと伺い、取り組み次第ではあるが恵庭市も施策が打てるのではないかと感じた。</p> <p>身近に文化・芸術を感じることで住み暮らす人の心豊かな生き方を育み、長寿日本一になった麻生区の事例は、恵庭市が目指す新たなまちづくりの視点でも好事例であった。恵庭市の新たな街づくりの一手を早急に打つべきと考える。</p>

報告書 3-2

視察研修先・神奈川県川崎市
視察研修項目・JEPLAN ペットボトルリサイクル事業について
報告者・三上 まどか
<p>* 議員個々の考察と見解 *</p> <p>地上のゴミを資源に変えて循環型社会を作るという全世界的課題に世界平和と地球環境防衛をテーマとしている理念が素晴らしい会社を視察できたことを光栄に思う。</p> <p>ペットボトルからペットボトルを作るリサイクル会社の第一人者だけではなく、マクドナルドと提携しハッピーセットの玩具を使わなくなったら回収するリサイクルボックスの設置や、自社でリサイクルで作ったアパレルブランドの B R I N G 社を立ち上げ実際衣服からリサイクルされた衣服を販売している。</p> <p>この事業は、ペットボトルのみならず、玩具や衣服などの地上資源をとにかく世界から集める必要がある事業なので、まずは知ってもらう事が必須である。</p> <p>恵庭市も自治体では北海道で2か所目に包括連携協定を締結したものの、周知には至っておらずまだまだできることがあると感じる。早急にこの取り組みのすばらしさを市民に周知し、回収事業に市を挙げて積極的に取り組むべきである。</p>

報告書 3-3

視察研修先・神奈川県鎌倉市
視察研修項目・地域デジタル通貨事業について
報告者・三上 まどか
<p>*議員個々の考察と見解*</p> <p>鎌倉市の地域デジタル通貨は、株式会社カヤックが開発・提供する『まちのコイン』を利用したSDG s つながりポイント事業であり、市民のSDG s への意識醸成やコミュニティ等のつながりの創出及び、ポイントとして可視化を通じて、地域課題の解決や地域経済の活性化、SDG s の達成に向けた取り組みの推進を目的に実施されていた。</p> <p>恵庭市も、えにわかというポータルアプリがあるが推進にポイント運用する運びになっているが、まちのコインとしてのデジタル通貨はシニア層や小中学生など世代にとられず、心がワクワクするコミュニケーションツールとして運用は可能だと考える。</p>

報告書 3 - 4

視察研修先・神奈川県座間市
視察研修項目・GPS を使ったゴミ収集事業について
報告者・三上 まどか
<p>* 議員個々の考察と見解 *</p> <p>小田急電鉄と連携し、ごみ収集車にiPadを設置しGPSで収集のデータを取り、実証実験によって効率化を図った事業。</p> <p>収集事業自体を市が運営しており、ゴミも無料回収していることから市営の仕組化がされている好事例である。人口は恵庭市の倍以上であるにも関わらず仕組化効率化されている要因はDX化されていることであり、モニターを搭載することで地域防犯にもつながると考える。</p> <p>ゴミ収集に限らず、除排雪のデジタル化の一手になりえる事例であることから、DX化の仕組みづくりを大手と連携することは有効と考える。</p>